

2022年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2022年2月10日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びこれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）と、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA、SBIA及びSBLAは、ビジョン・ファンド2、ビジョン・ファンド1及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採用しています。SBGA、SBIA又はSBLAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独、SBIA単独又はSBLA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4
1米ドル	107.74	105.88	104.45	106.24	110.00	110.47	113.60	
1人民元	15.16	15.27	15.71	16.31	17.01	17.09	17.75	
期末レート	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末
1米ドル				110.71			115.02	
1人民元				16.84			18.06	

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
ラテンアメリカ・ファンド	ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド1 (SBLA Holdings (Cayman) L.P. およびSBLA Latin America Fund (Cayman) L.P.) およびソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド2 (SBLA Holdings II DE LLCおよびSLA Holdco I LLC) の総称
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

外部環境

- ◆ 中国や他地域での規制強化
- ◆ 地政学リスクの高まり
- ◆ 米国金融政策の変更とテック株式等の調整

当社の取組み

- ◆ アームは2022年度の上場に向け準備
- ◆ ユニコーン投資の継続
: SVF2から新規165銘柄含め\$36.3Bを投資 (Q1-Q3)
- ◆ LTV等財務方針の堅持
- ◆ 投資回収と新規投資・株主還元への再配分

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

FY21Q1-Q3総括*1

財務方針を堅持しつつ、投資活動も着実に継続

<p>業績・NAV</p>	<p>投資先の株価下落により投資損失計上も純利益3,926億円を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> - 投資損失は5,518億円、純利益*2は3,926億円を確保 - NAVは19.3兆円
<p>投資活動</p>	<p>新規投資と収穫およびポートフォリオの分散が進展</p> <ul style="list-style-type: none"> - 投資：\$39.2B（SVF1&2）、\$3.4B（ラテンアメリカ・ファンド） - 売却・資金化：合計\$22.2Bの売却や資金化（SVF1&2） - 分配：SVF1&2から合計\$13.1B*3の分配金受領（SBG）。投資からの分配を再投資へ - ポートフォリオの分散：保有株式価値に占めるアリババの割合は24%に
<p>財務活動</p>	<p>安定的な財務運営のもと、資金調達を実行</p> <ul style="list-style-type: none"> - LTV 21.6%、手元流動性 2.1兆円*4 - 調達（10～12月）：アセットバックファイナンス（アリババ+\$2.2B/ドイツテレコム+€2.6B） - 償還・返済（10～12月）：マージンローンの一部返済（アリババ-\$4.0B/Tモバイル-\$1.3B） <p style="text-align: center;">国内劣後債の満期償還：-3,616億円</p>

*1 別途記載がある場合を除き、2021年12月31日時点

*2 親会社の所有者に帰属する純利益

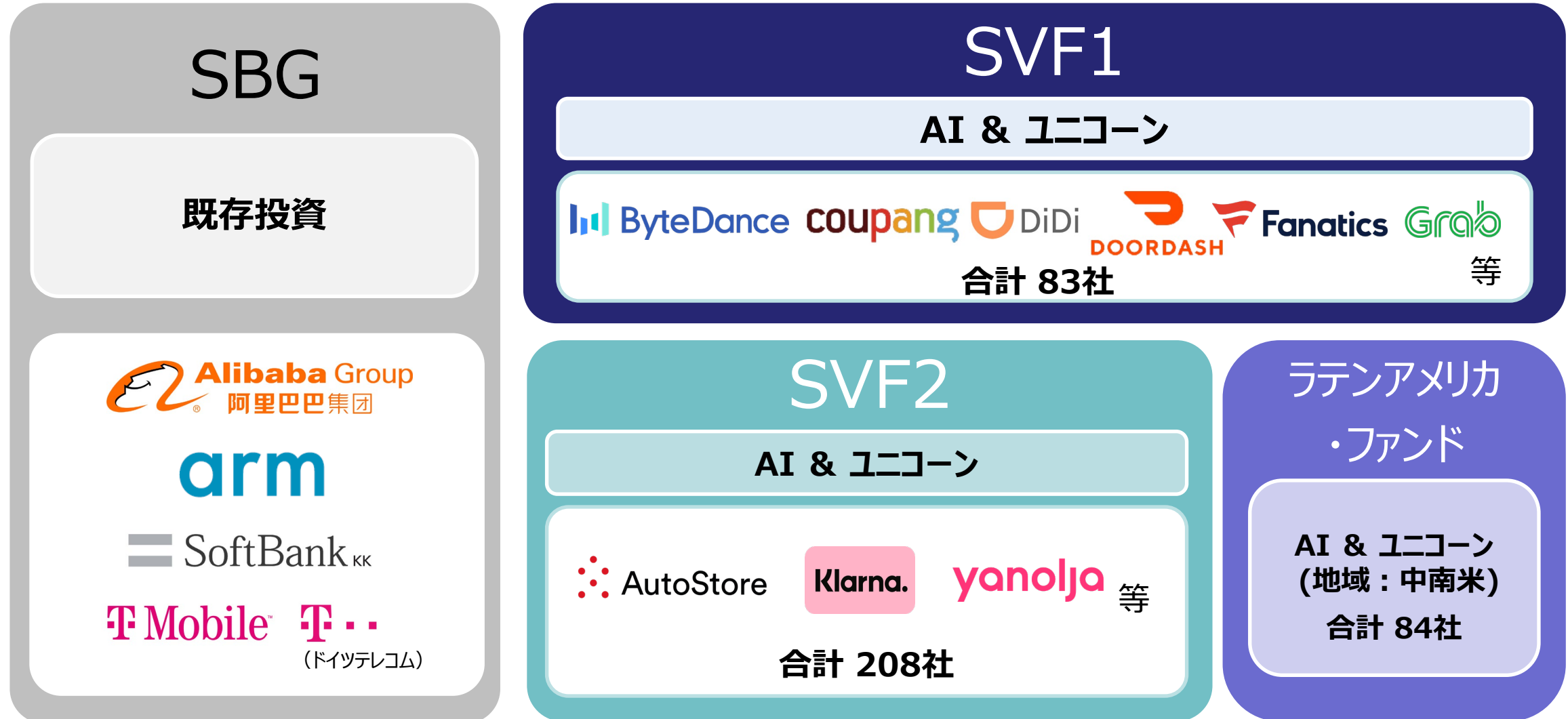
*3 SVF1のインセンティブスキームへの分配金（\$0.9B）を含む。

*4 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2021年12月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

- **投資事業の状況**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

グループの投資活動

複数の投資エンティティがそれぞれの分野で活動し、本格的なAI時代の到来に備える



(注)

- 2021年12月31日時点で保有する投資先を記載
- 本頁の情報はグループの投資活動の説明目的でのみ記載されており、各投資エンティティの投資対象を網羅するものではない。

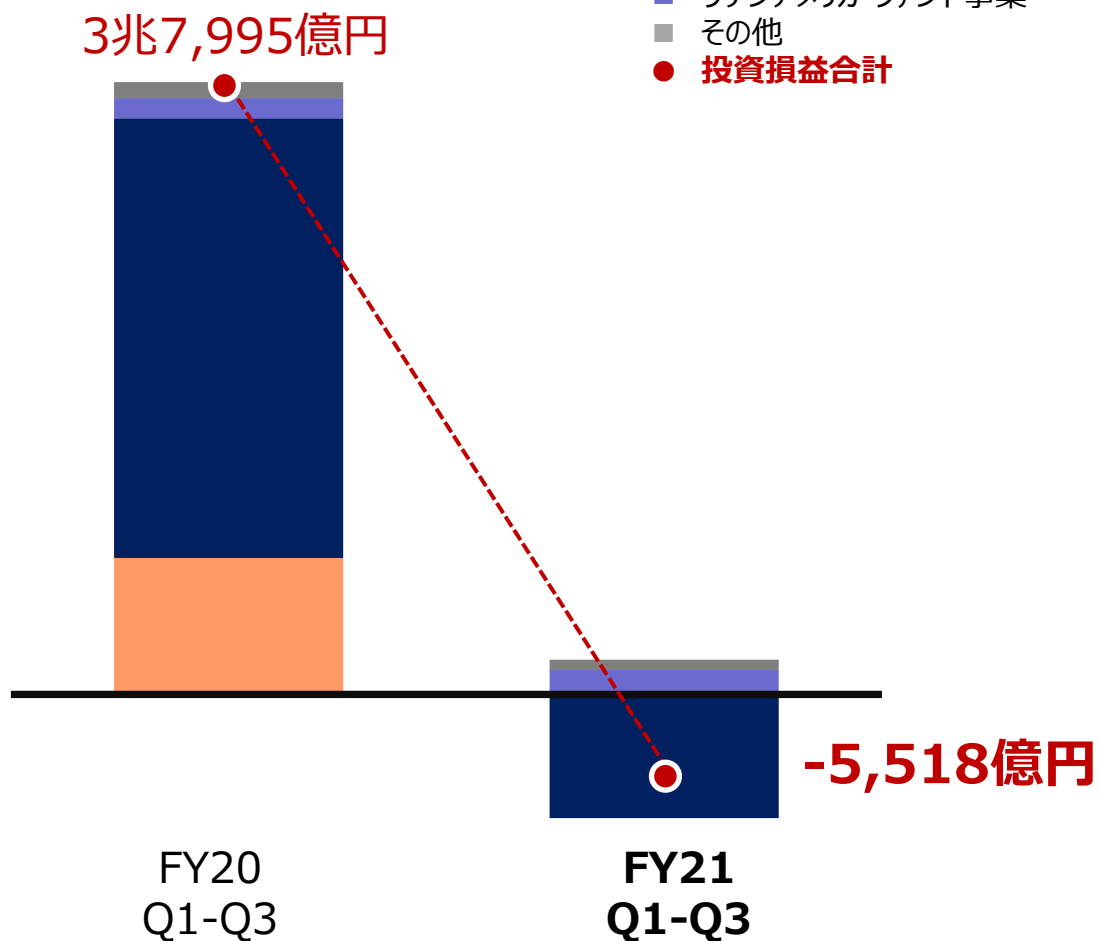
ソフトバンクグループ＝「情報革命の資本家」

- SVF等を通じて世界のユニコーン企業に投資
- 投資先を通じてAIによるイノベーション・ディスラプションを促し、ビジョン実現を目指す
- 中長期的視点での投資によるリターンの最大化に注力

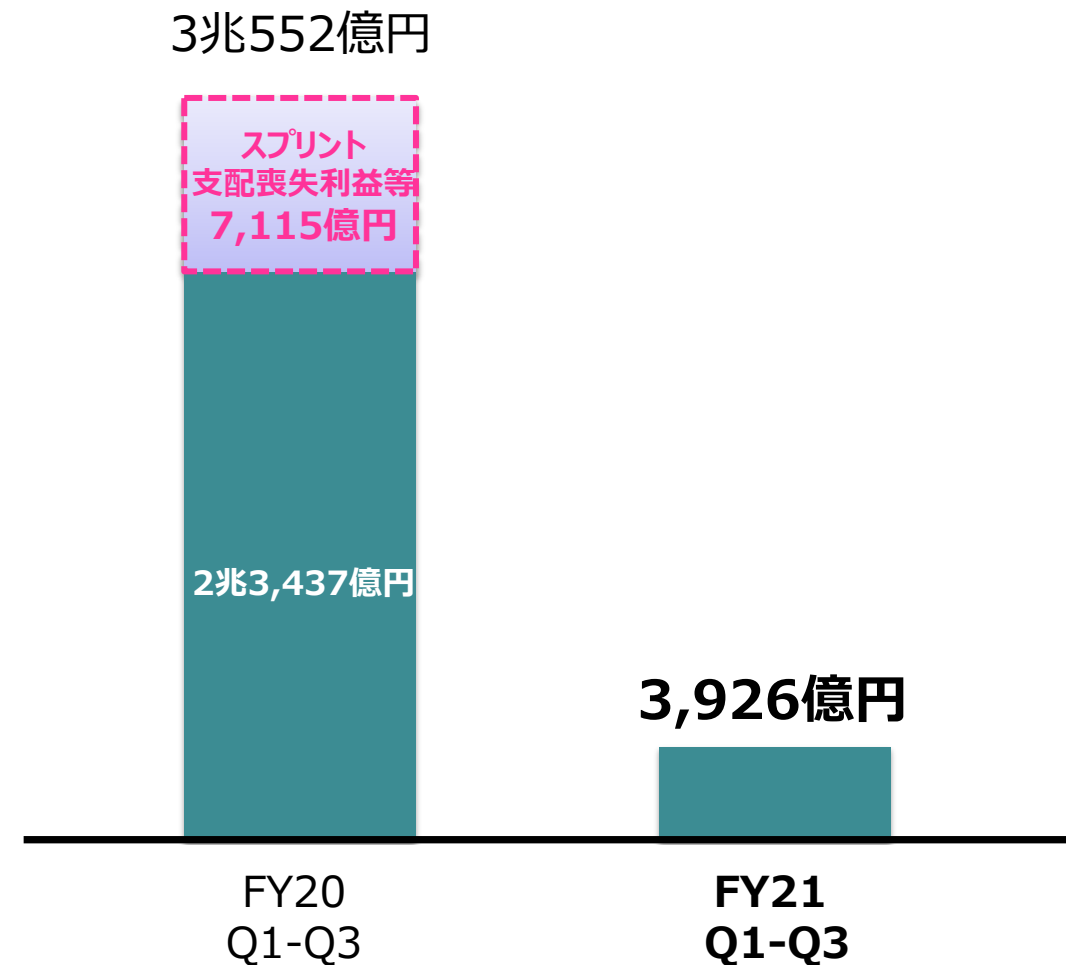
投資損失計上の一方、連結純利益3,926億円を確保

投資損益

- 持株会社投資事業
- SVF1&2
- ラテンアメリカ・ファンド事業
- その他
- 投資損益合計



純利益 (親会社の所有者帰属分)

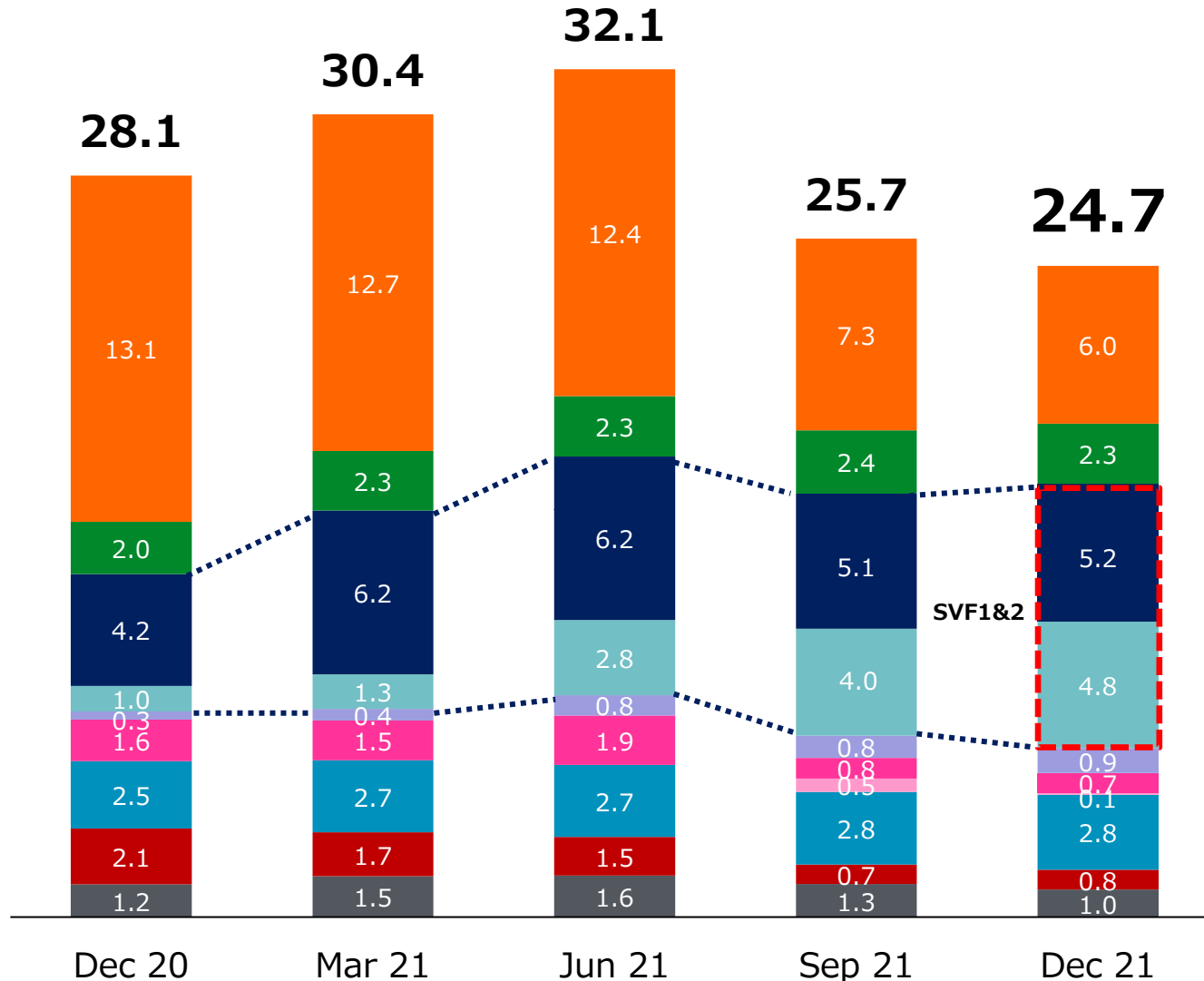


保有株式価値

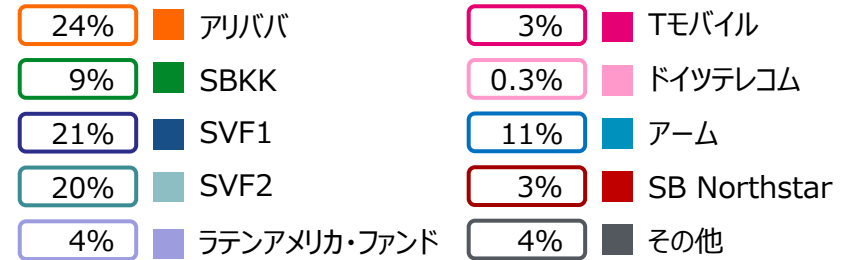
保有株式価値は24.7兆円に減少も、引き続き高水準を維持

アセットファイナンス除く

(兆円)



構成比 (2021年12月31日時点)



2021年12月末時点の詳細はAppendix参照

(注) 各四半期末時点

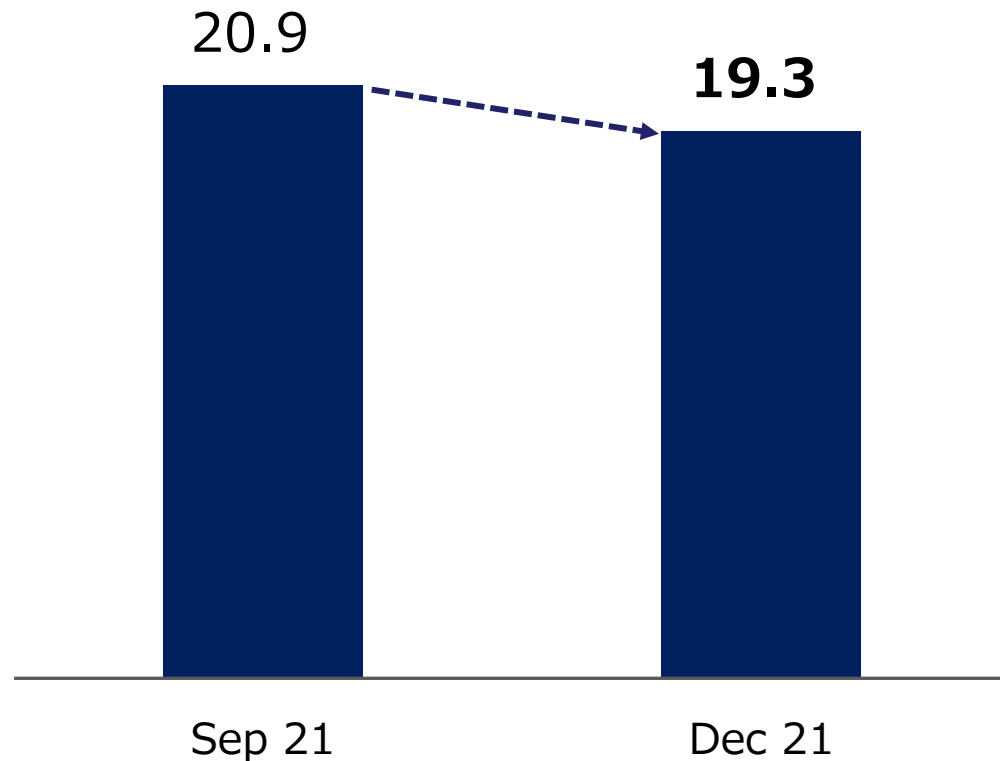
- アリババ：SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ算出。アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額、アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除。
- SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除（FY2021Q1まで）
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額
- ラテンアメリカ・ファンド：ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込金額
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2021年12月末時点：56,124,954株）を含む）。一定の条件下でTモバイル株式（48,751,557株）をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額、Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしての金額およびTモバイル株式を活用した先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額を控除。（Tモバイル株式を活用したマージン・ローンについては、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている）。
- ドイツテレコム：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SB Northstar：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出。SB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出（FY2021Q1まで）。
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出

NAV・1株当たりNAV

NAV、1株当たりNAVともに減少

NAV (Net Asset Value)

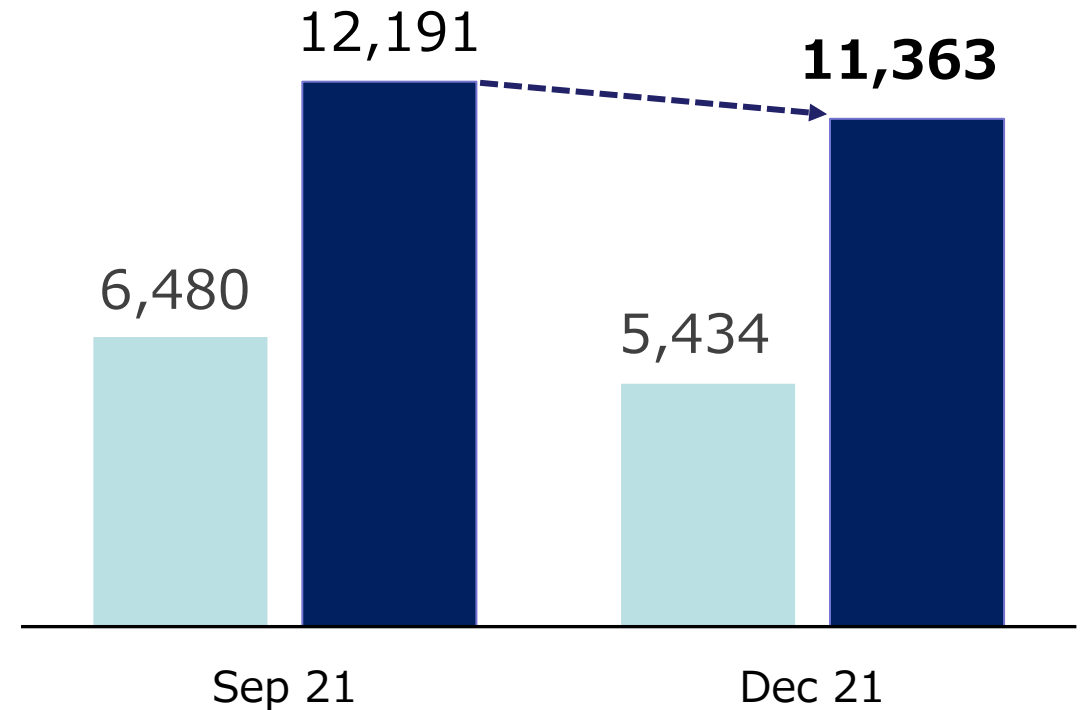
(兆円)



1株当たりNAV*1と株価

(円)

■ 株価
■ 1株当たりNAV



(注) 各四半期末時点

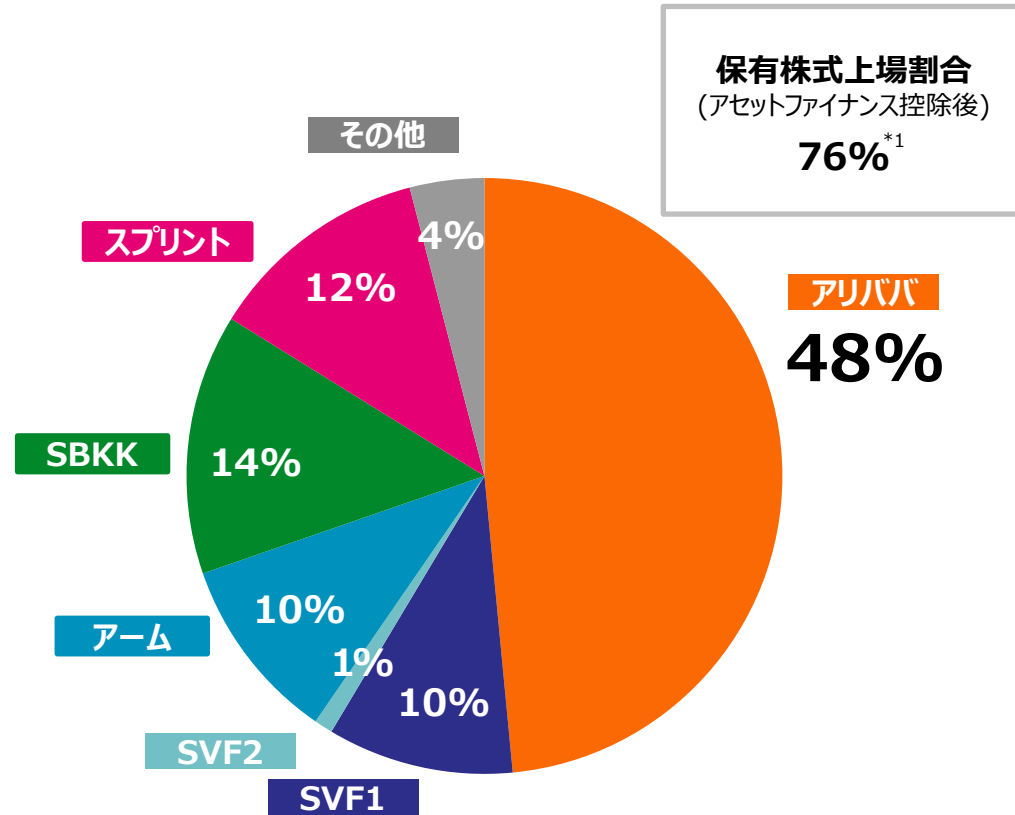
*1 1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)

保有株式価値：ポートフォリオの分散

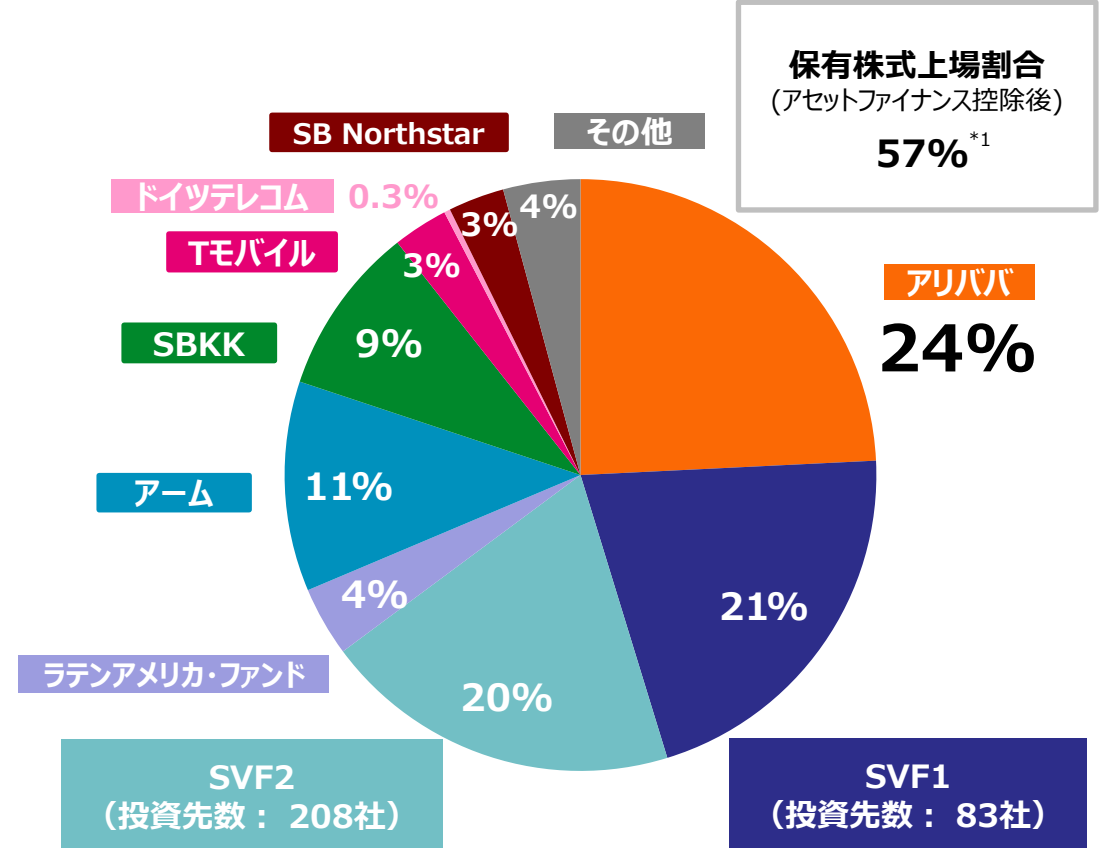
2020年3月末と比較し、SVF1&2の価値増加により資産の多様化が進む

アセットファイナンス除く

2020年3月末



2021年12月末

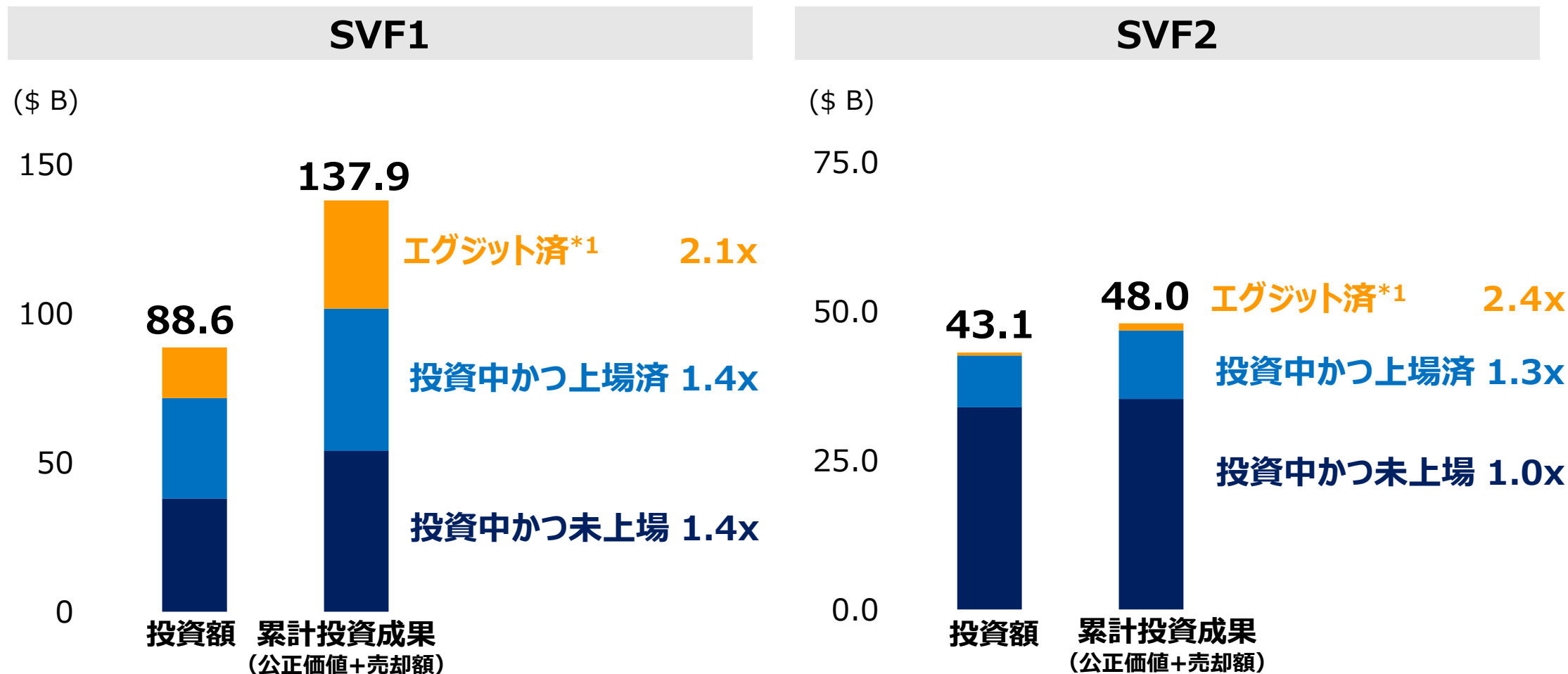


(注) 保有株式価値の内訳についての注記は、財務編p7を参照

*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・ラテンアメリカ・ファンドおよびSB Northstarが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1・SVF2はSBGの持分のみを含む）。

SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース、2021年12月末時点）

累計投資成果はSVF1で\$137.9B、SVF2は\$48.0B



(注)

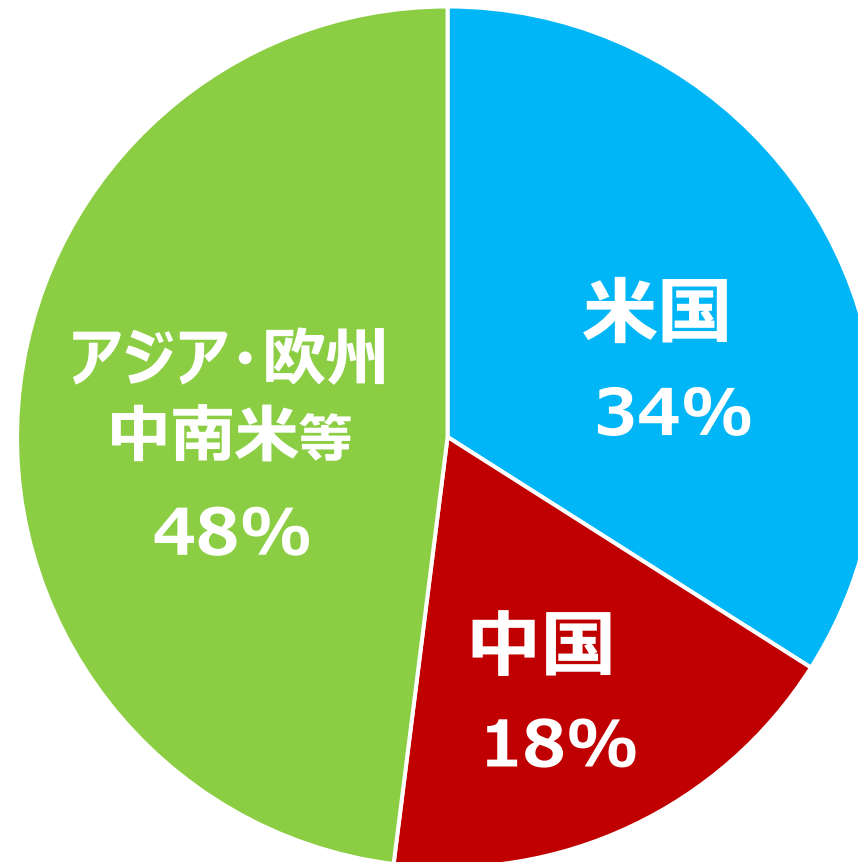
1. 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

2. 外部投資家持分および税金等の控除前

*1 エグジット済には、投資先に係るデリバティブ関連損益および投資先からの利息や配当金を含む。

SVF1&2等投資先 時価 (2021年12月末時点・売却済除く)

幅広い地域へ投資



- (注)
- SVF1&2等：SVF1, SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、その他のSBGによる上場投資および非上場投資（アリババ、Tモバイル、ドイツテレコム、SBKK、アーム、SB Northstarを除く）
 - 時価に基づく比率を表示
 - 時価：2021年12月末時点の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づき算出、売却済除く
 - 国・地域：投資先の本社所在地に基づき定義
 - アジア：中国を除く

SVF1&2：平均投資額の縮小

SVF2の1社あたり平均投資額は\$0.2B

SVF1

1社あたり平均投資額



累計投資額 **\$87B**

累計投資件数 **94件**

(株式交換や現物配当により取得した3件を除く)

SVF2

1社あたり平均投資額



累計投資額 **\$37B**

累計投資件数 **201件**

(SBGからSVF2に移管された8件を除く)

(注)

1. 2021年12月31日時点

2. 累計投資額および累計投資件数にはエグジット済みの投資先を含む。

SVF1&2の投資活動（FY21Q1-Q3）：投資

SVF2を中心に、合計\$39.2Bの新規・追加投資を実行



ファンド	投資先（アルファベット順）	セクター
SVF1	投資額：\$2.9B	
SVF2	AutoStore	AutoStore 物流
	JELLYSMACK	Jellysmack コンシューマサービス
	Revolut	Revolut フィンテック
	SWIGGY	Swiggy コンシューマサービス
	yanolja	Yanolja 不動産テック
	上記含め、計165銘柄へ新規投資	
	投資額：\$36.3B	

合計\$39.2B

SVF1&2の投資活動（FY21Q1-Q3）：新規上場

大型上場を複数実施し、引き続き良好なパイプライン

投資

新規上場

売却・資金化

ファンド	上場済み（Q1-Q3）	上場予定（Q4以降）*1
SVF1		
	計11銘柄、12月末公正価値合計\$21.0B	計3銘柄
SVF2		
	計10銘柄、12月末公正価値合計\$10.0B	計5銘柄（うち、上場済み1銘柄）

(注) 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はない。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではない。

*1 2021年12月31日時点で上場予定公表済みの投資先。点線枠内は2022年1月31日時点で上場済みの投資先

SVF1&2の投資活動（FY21Q1-Q3）：売却・資金化

合計\$22.2Bの売却・資金化*1を実施

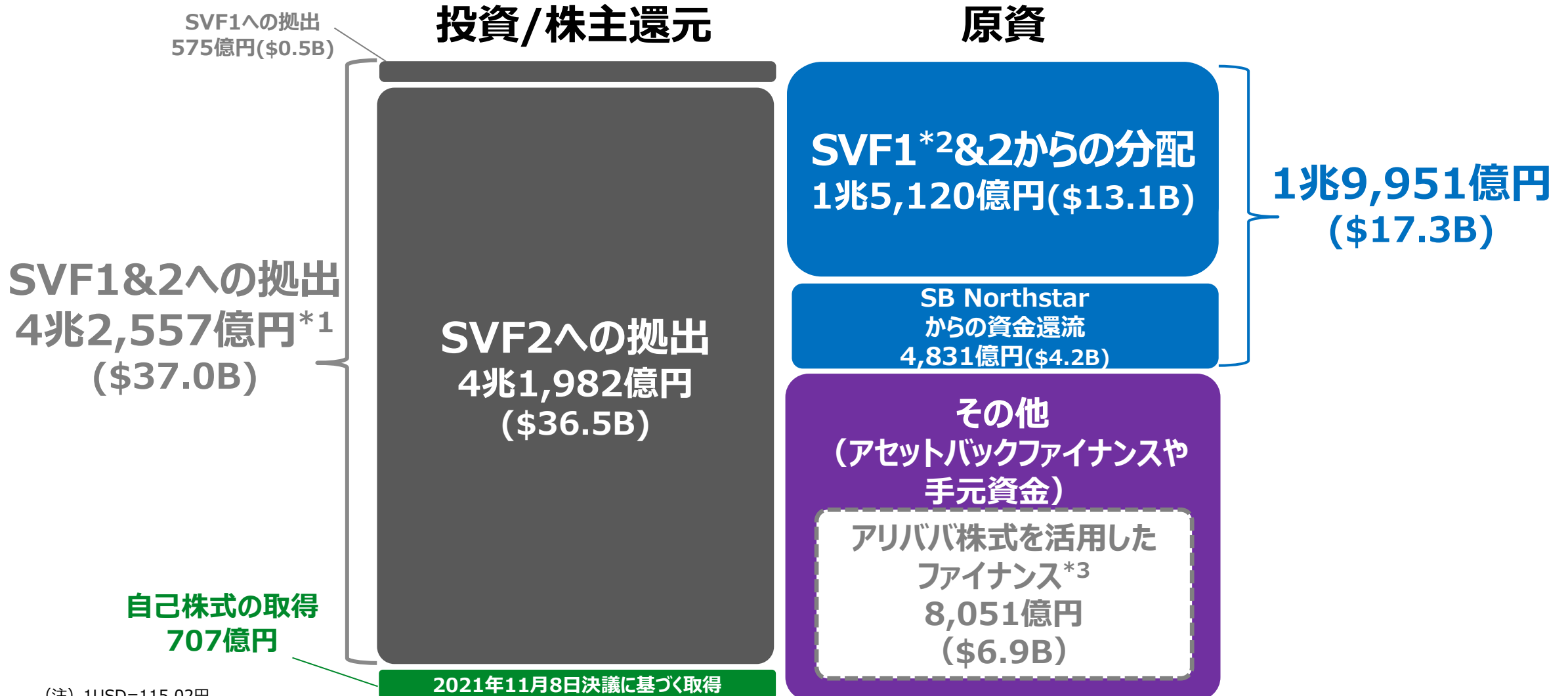
	投資	新規上場	売却・資金化
ファンド			売却・資金化*1
SVF1			 等、計14銘柄を一部売却
			合計\$16.0B*1
SVF2			(一部) KE Holdings (Beike)
			他、1銘柄の全株式を売却
			合計\$6.2B*1*2

*1 ポートフォリオ・ファイナンス・ファシリティー（保有する株式の資金化を目的とした借入れ）を含む。株式交換による影響を除く。

*2 タームローン・ファシリティー（ポートフォリオを対象とした間接的な質権を担保としたプライベート・クレジット市場における借入れ）を含む。

投資と回収のサイクル (FY21Q1-Q3)

約2.0兆円を回収し新規投資へ充当。自己株式の取得も開始



(注) 1USD=115.02円

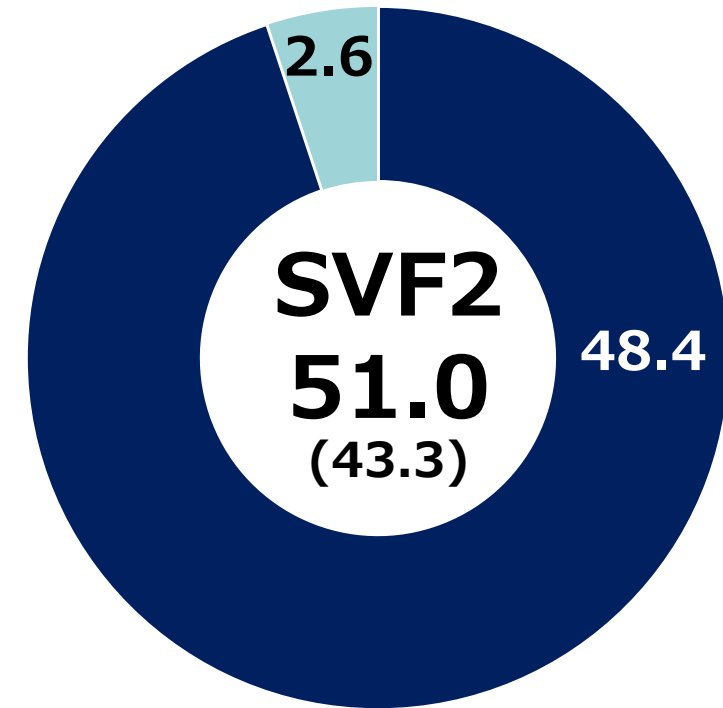
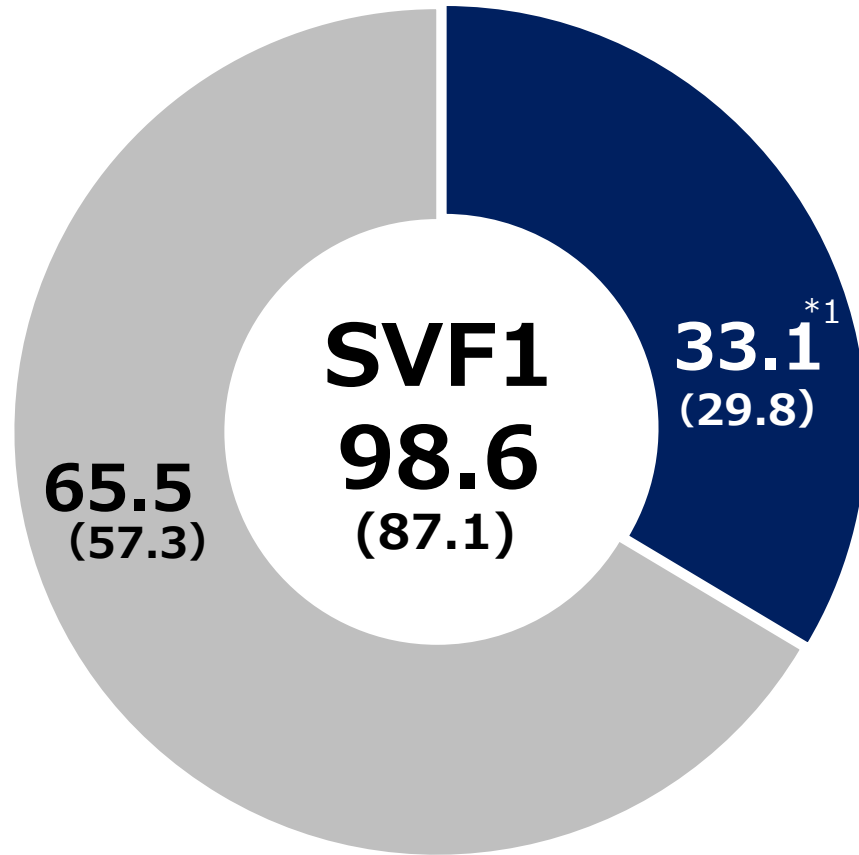
*1 ラテンアメリカ・ファンドへの拠出額 (\$2.9B) は含まない。

*2 SVF1のインセンティブスキームへの分配金 (\$0.9B)を含む。

*3 アリババ株式を活用した先渡し契約およびマージン・ローンによる調達額 (純額)

SVF1&2 : コミットメント状況 (2021年12月末時点)

(\$ B)



※ 括弧内は拠出額

*1 SVF1への当社の出資コミットメントは、アーム株式を活用した\$8.2B相当の支払義務履行分（全該当株式を拠出済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される\$2.5Bを含む。

*2 孫 正義以外の経営陣の参加は2022年1月末現在未決定だが、将来的に参加を予定。FY21Q3末現在、出資は全額が未払い

arm

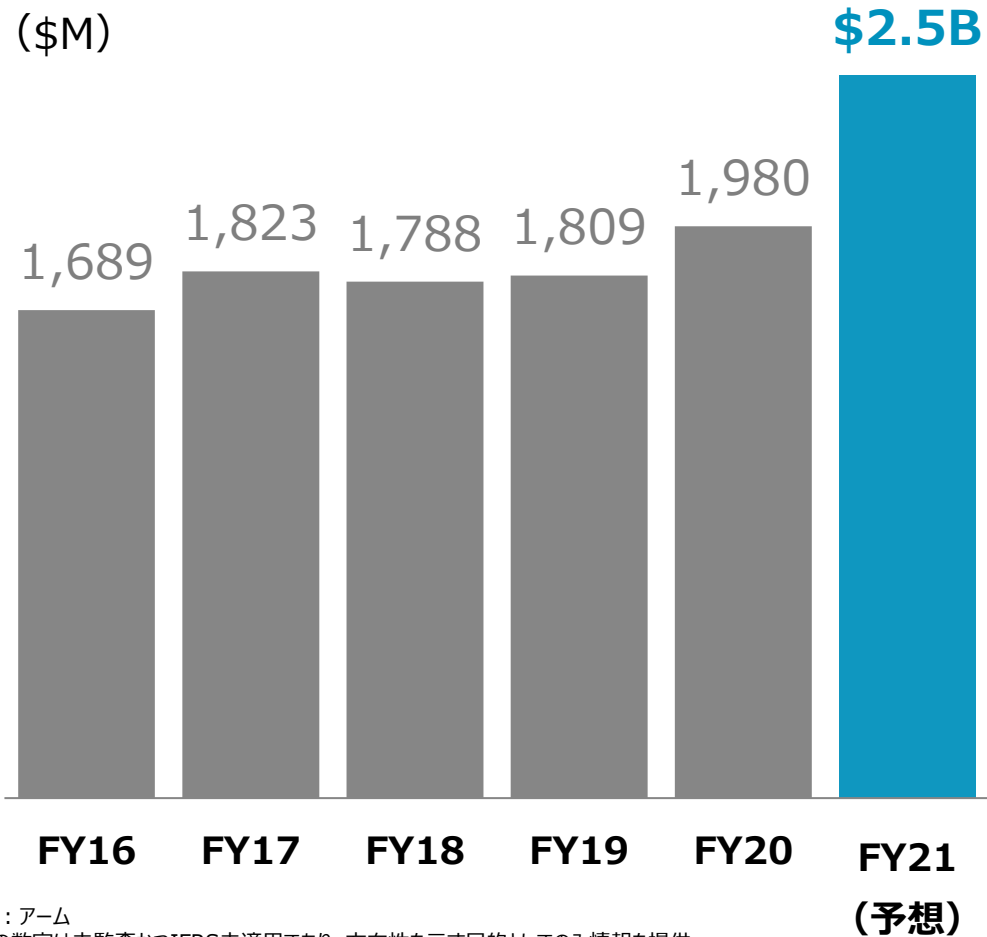
アームの売却中止をNVIDIAと合意

アームは2022年度の上場を目指す

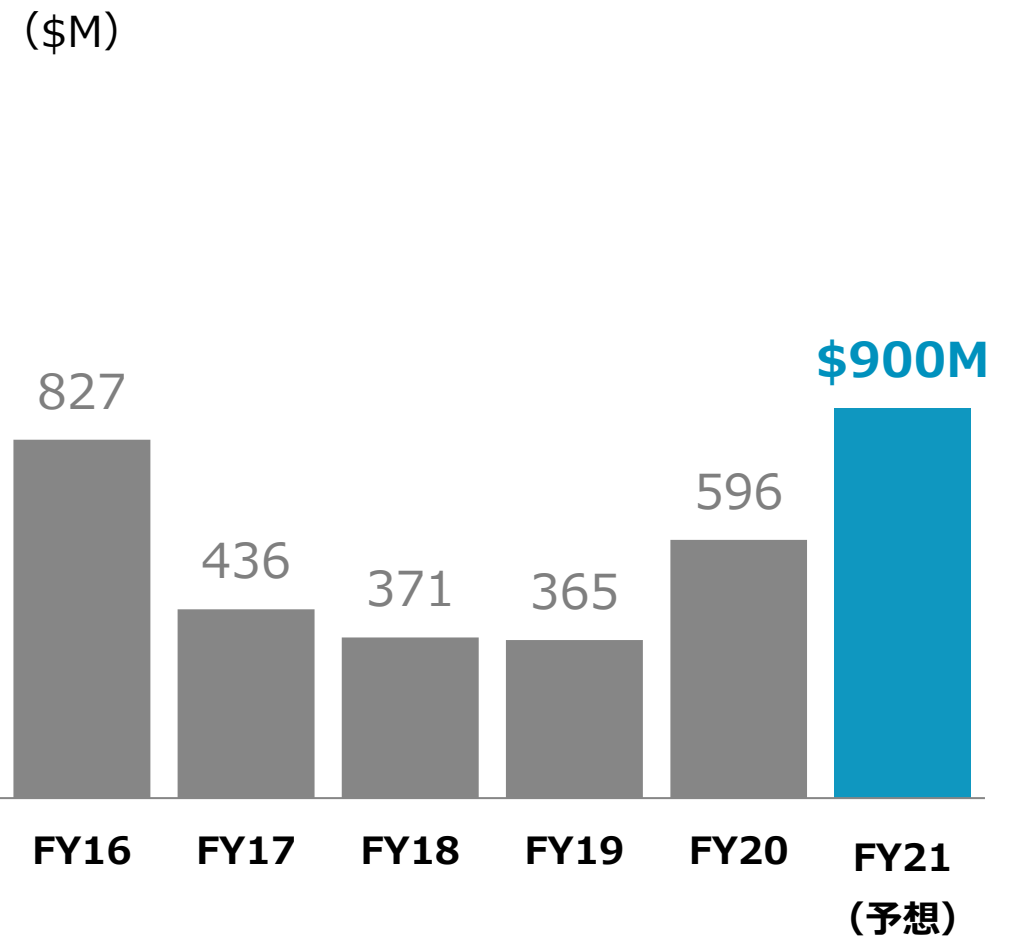
(注) 詳細は、2022年2月8日付プレスリリース「当社子会社Arm Limited全株式の売却契約の解消及びArm Limitedの株式上場の準備に関するお知らせ」を参照

アーム : 売上高・調整後EBITDA (年間)

売上高*1 (年間)



調整後EBITDA*2 (年間)



(注)

1. 出所：アーム
 2. 全ての数字は未監査かつIFRS未適用であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供
 3. 本スライドは例示のみを目的として提供しており、アームから提供された情報に基づいて作成
 4. SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。
- *1 FY17以降：ISG事業を除く。
*2 FY18～FY19：ISG事業に係る直接費用を除く。FY20～FY21：ISG事業に係る直接費用およびISG事業に関連する本社費用を除く。
ISG事業：Internet-of-Things Services Group；IoTに関連するサービスグループ

グローバルモバイル市場のリーダー
自動車・インフラをはじめ巨大な成長市場でシェアを拡大

売上高 前年比26%増*¹ (2021年度予想)
調整後EBITDA 2.5倍*² (2019年度→2021年度予想)

高い収益性とキャッシュ創出力
強靱で負債のないバランスシート

壮大な成長戦略とともに新アームを始動

半導体業界史上最大の上場を目指す

(注)

1. 出所：アーム
 2. 本スライドは例示のみを目的として提供しており、アームから提供された情報に基づいて作成
 3. SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。
- *1 2021年度 売上高 \$2.5B(予想)に基づく
*2 2021年度 調整後EBITDA \$900M(予想)に基づく、2019年度と比較

- 投資事業の状況
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

FY21Q3の主な財務活動

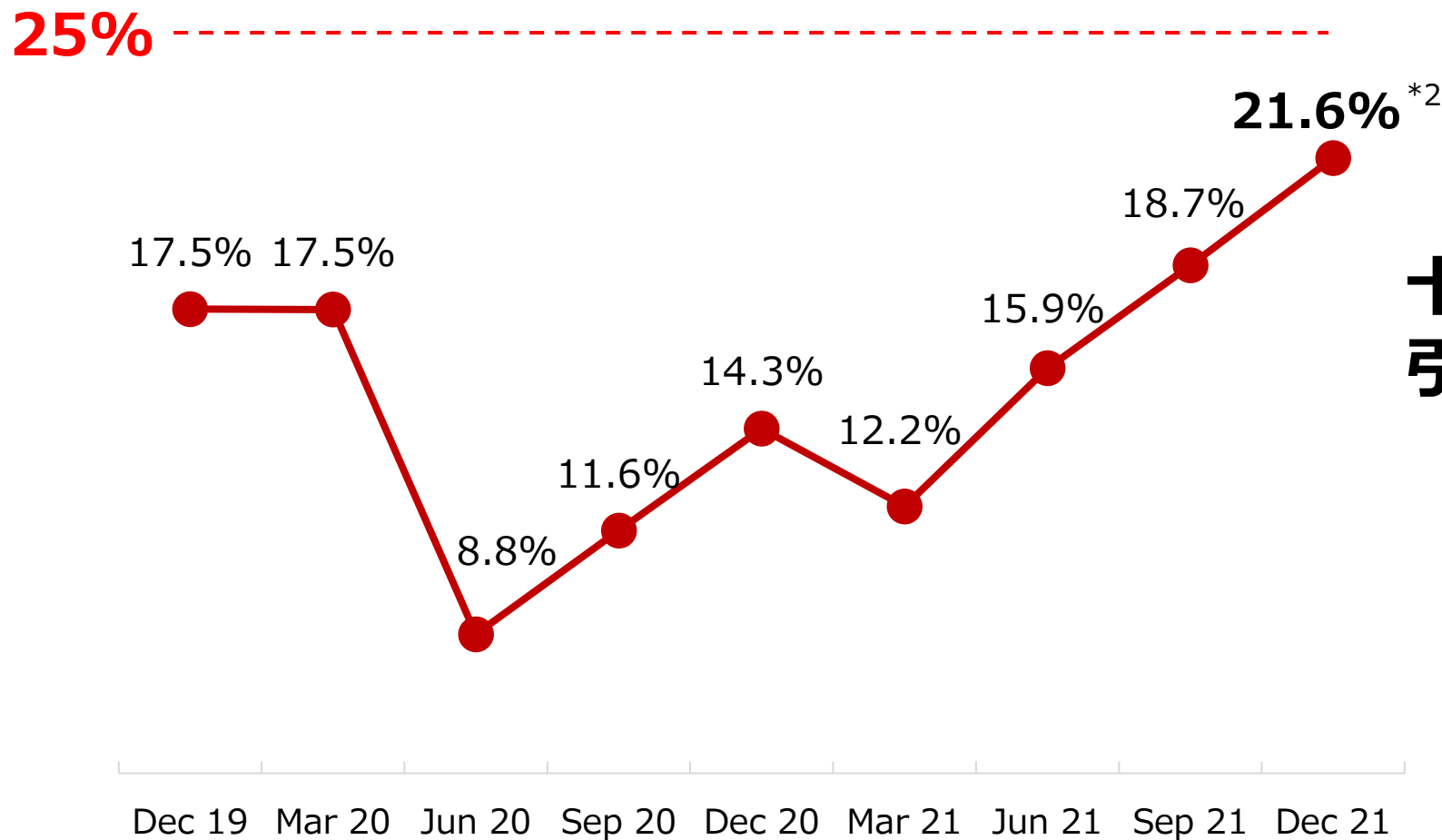
財務柔軟性を高める多様なファイナンスを実施

社債	国内劣後社債の満期償還	
	2014年発行の国内劣後社債	-3,616億円 (-\$3.1B)
アセットを活用した 資金調達	アリババ株式	
	フォワード取引	+2,542億円 (\$2.2B)
	既存マージン・ローンの返済及び新規契約	返済： -11,502億円 (-\$10.0B) 新規： +6,901億円 (\$6.0B)
	Tモバイル株式	
	マージン・ローンの返済	-1,438億円 (\$-1.3B)
	ドイツテレコム株式	
	カラー取引	+3,445億円 (€2.6B)

(注) 社債の償還金額は額面ベース。1USD=115.02円、1EUR=130.51円

アセットファイナンス除く

LTVの推移 *1



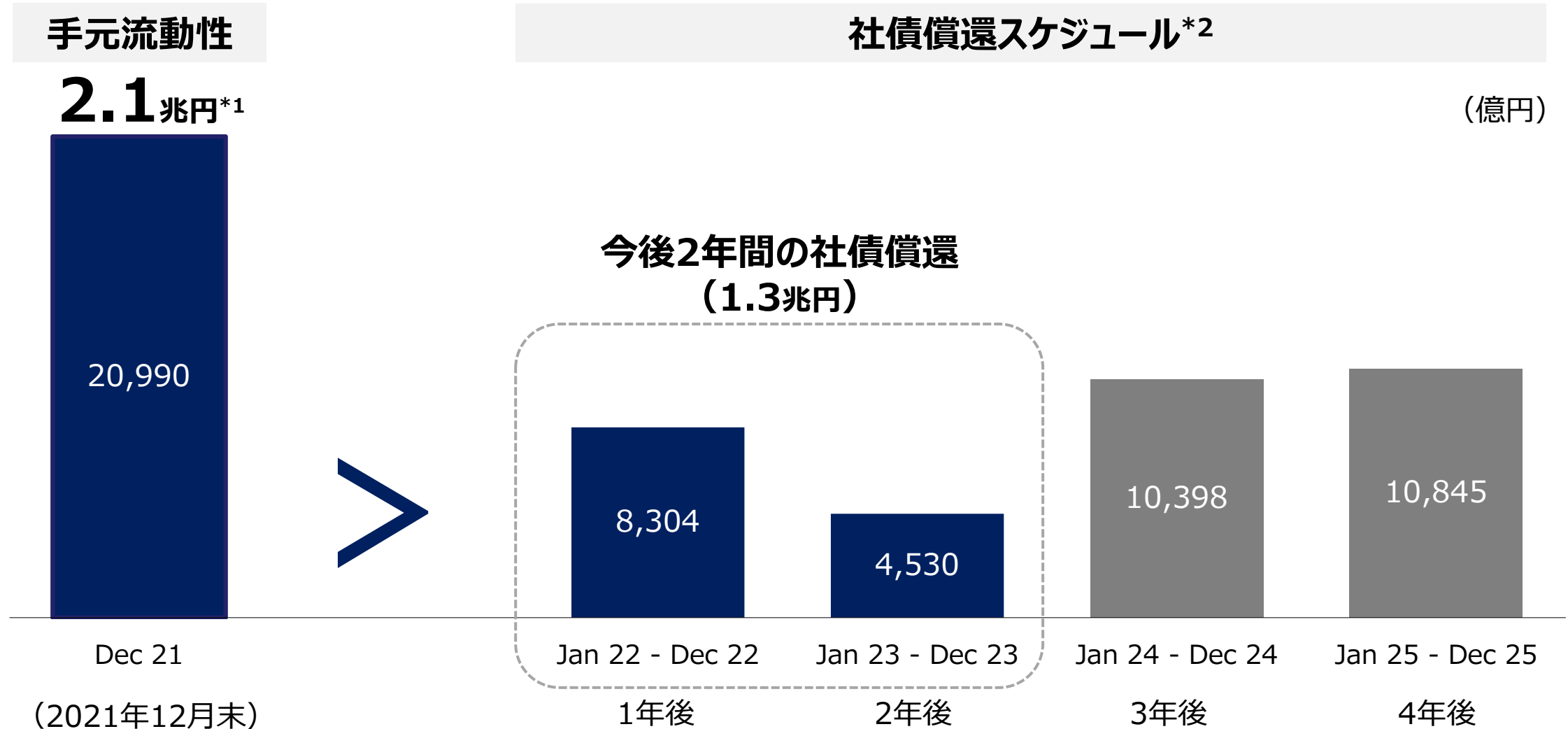
十分な財務バッファを
引き続き確保

*1 各四半期末時点の数値を記載

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

手元流動性

社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持



*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2021年12月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

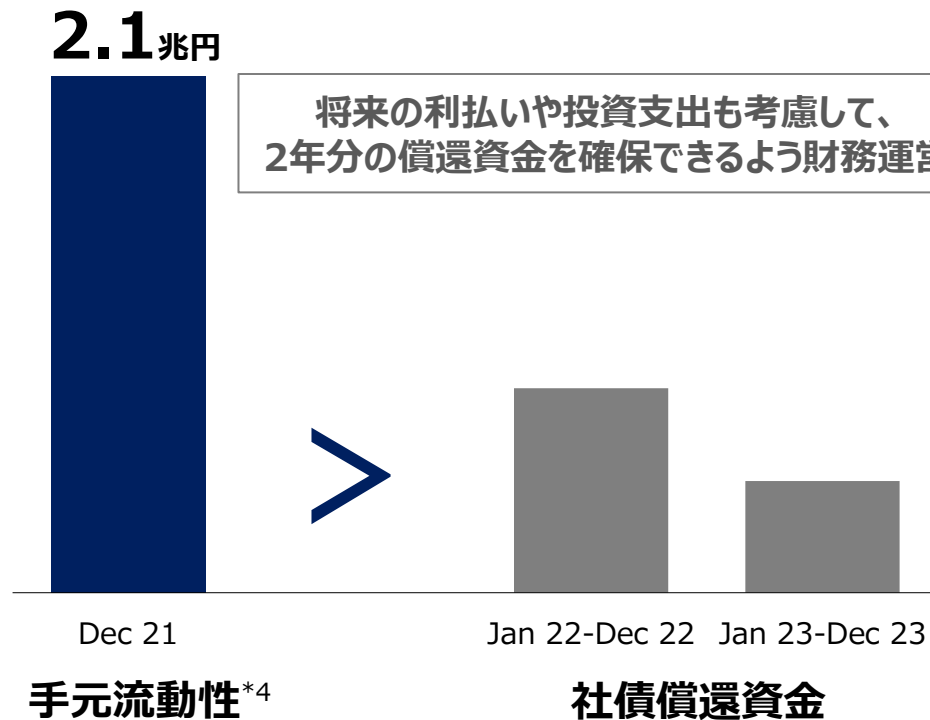
*2 社債償還金額はバイバックにより取得した社債を除く。

流動性管理の考え方

2年分の社債償還資金を超える手元流動性を維持

SVF1&2からの分配金が期中キャッシュ・フローに寄与（インタレスト・カバレッジ：6.4x）

2年分の社債償還資金を維持



インタレスト・カバレッジ

SBKKからの配当
1,647億円*1



SVF1&2分配金
(直近12ヶ月)
15,120億円*2

支払利息
2,622億円*3

= 6.4x

*1 2021年12月末時点で保有するSBKK株式数と1株当たり配当86円（会社予想）より算出

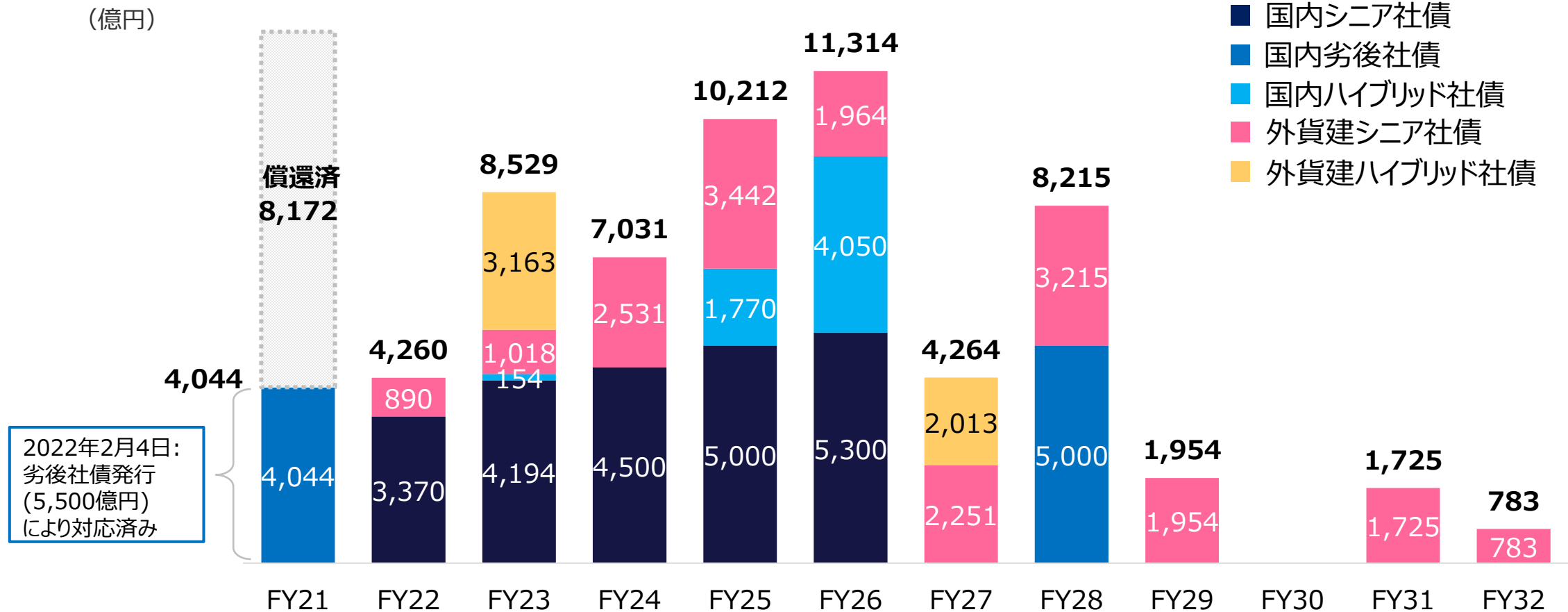
*2 SVF1のインセンティブスキームへの分配金（\$0.9B）を含む。

*3 FY2021Q3(LTM)のSBG及び資金調達を行う子会社における支払利息2,318億円 + 資本に含まれるハイブリッド債の支払利息305億円

*4 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。2021年12月末のコミットメントライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

社債償還スケジュール

本年度の国内劣後社債・ハイブリッド社債のリファイナンスが完了



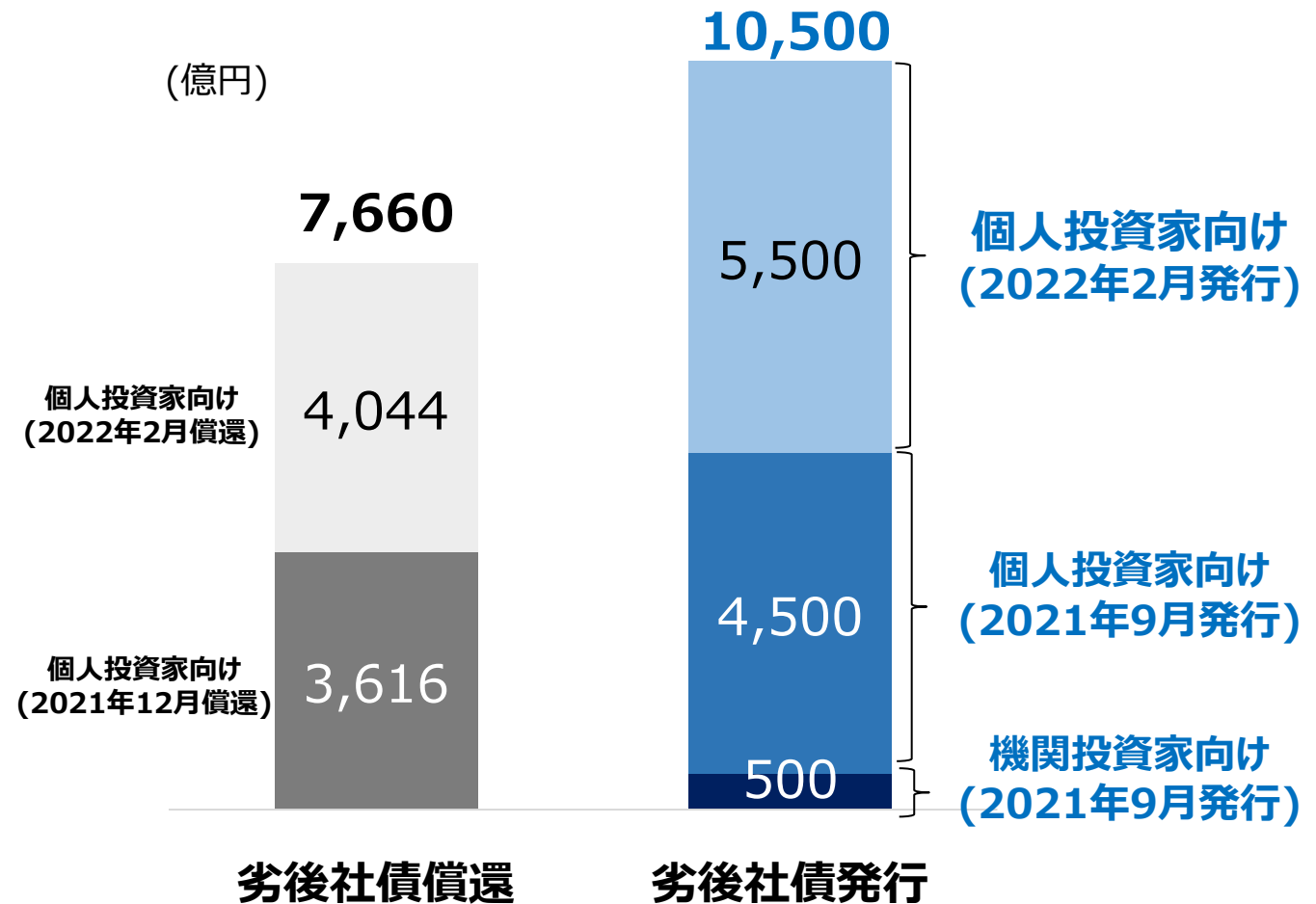
(注)
 1. 2021年12月31日時点発行残高
 2. ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
 3. 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=115.02円にて換算
 4. バイバックにより取得した社債を除く。

国内リテール劣後社債の発行（2月）

リテールの旺盛な需要を受け、当社過去最大の5,500億円の国内劣後社債を発行

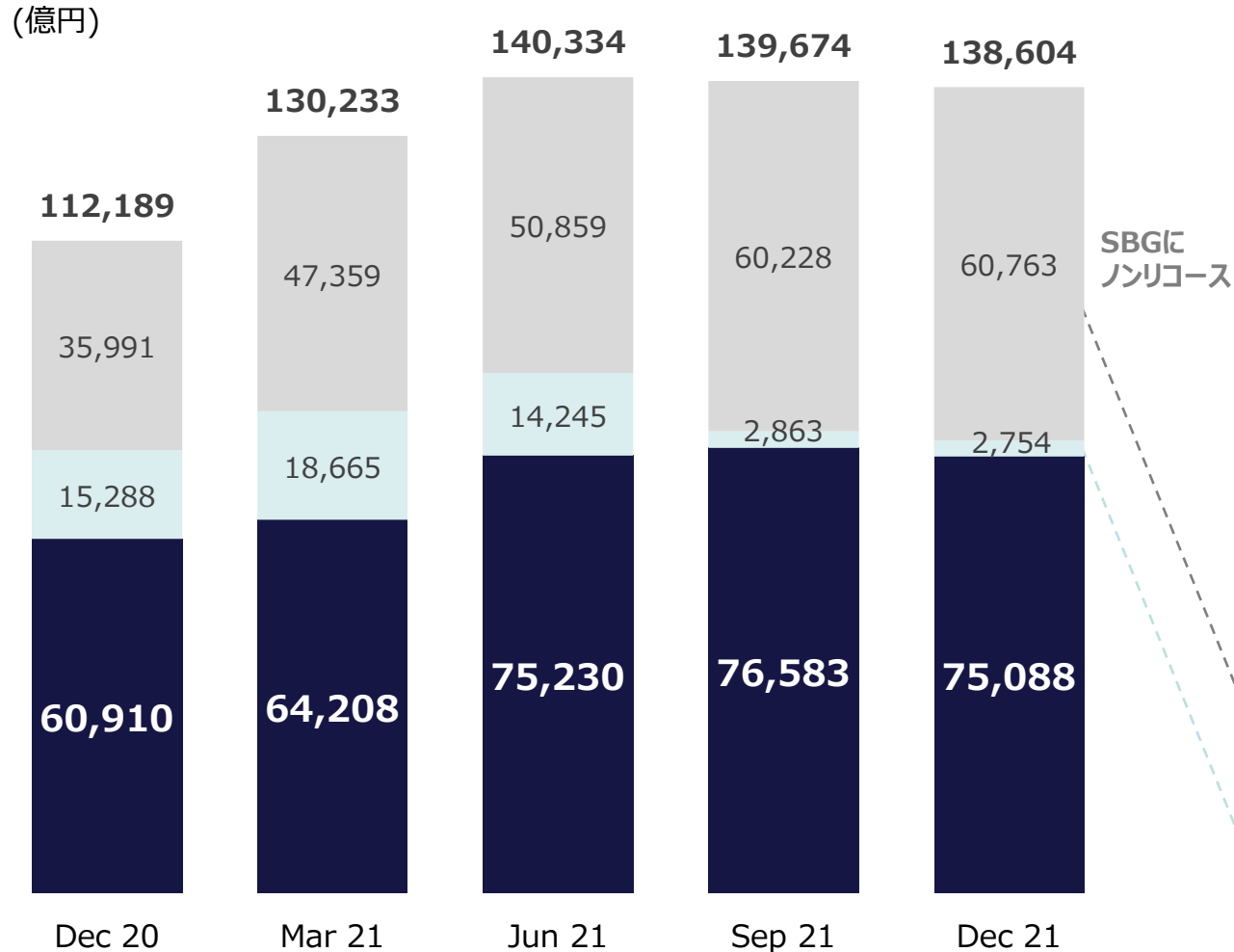
国内劣後社債のリファイナンス完了

発行総額	5,500億円 (2019年の5,000億円を超えて過去最大)
投資家	個人投資家
利率	2.48%
年限	7年



SBG単体 有利子負債*1

ノンリコース分除く有利子負債は横ばいで推移



2021年9月末からの主な変動要因	
• アリババ株式を活用したマージン・ローンの一部返済	-\$4.0B
• ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	+€2.6B
• アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結	+\$2.2B
• 国内劣後社債の満期償還	-3,616億円
• 銀行ローンの増額	+1,518億円

2021年12月末 内訳 (億円)	
SBG 借入金	
銀行ローン	13,133
ハイブリッドローン	835
その他	7
小計	13,975
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,257
国内劣後債/ハイブリッド債	14,861
外債	19,635
CP	2,881
小計	59,633
SBG リース負債	
	124
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	42,708
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	3,962
マージン・ローン (SBGにノンリコース*2)	14,092
(SBGにリコース*2)	809
SB Northstar	2,754
その他	547
小計	64,872

合計 138,604 財務編 28

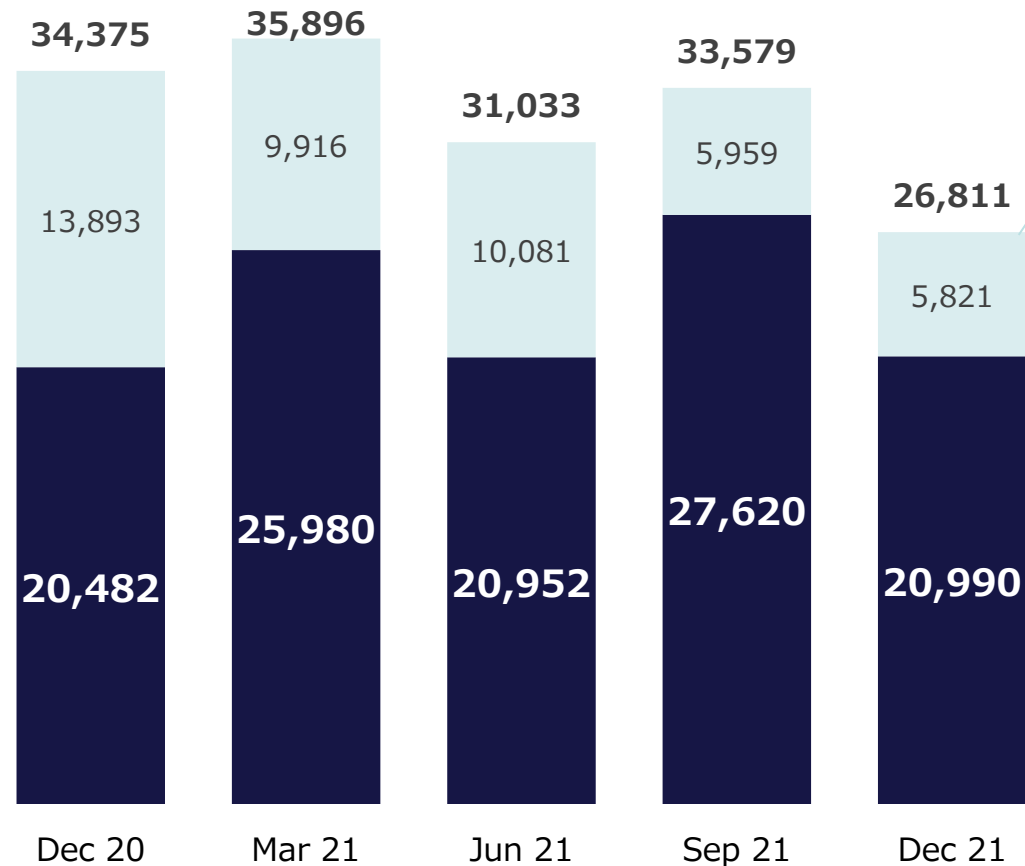
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 Tモバイル株式会社を活用したマージン・ローン(借入総額\$2.65B)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$0.7B)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額とする。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

SBG単体 手元流動性

投資の進展と負債の返済により、手元流動性は減少

(億円)



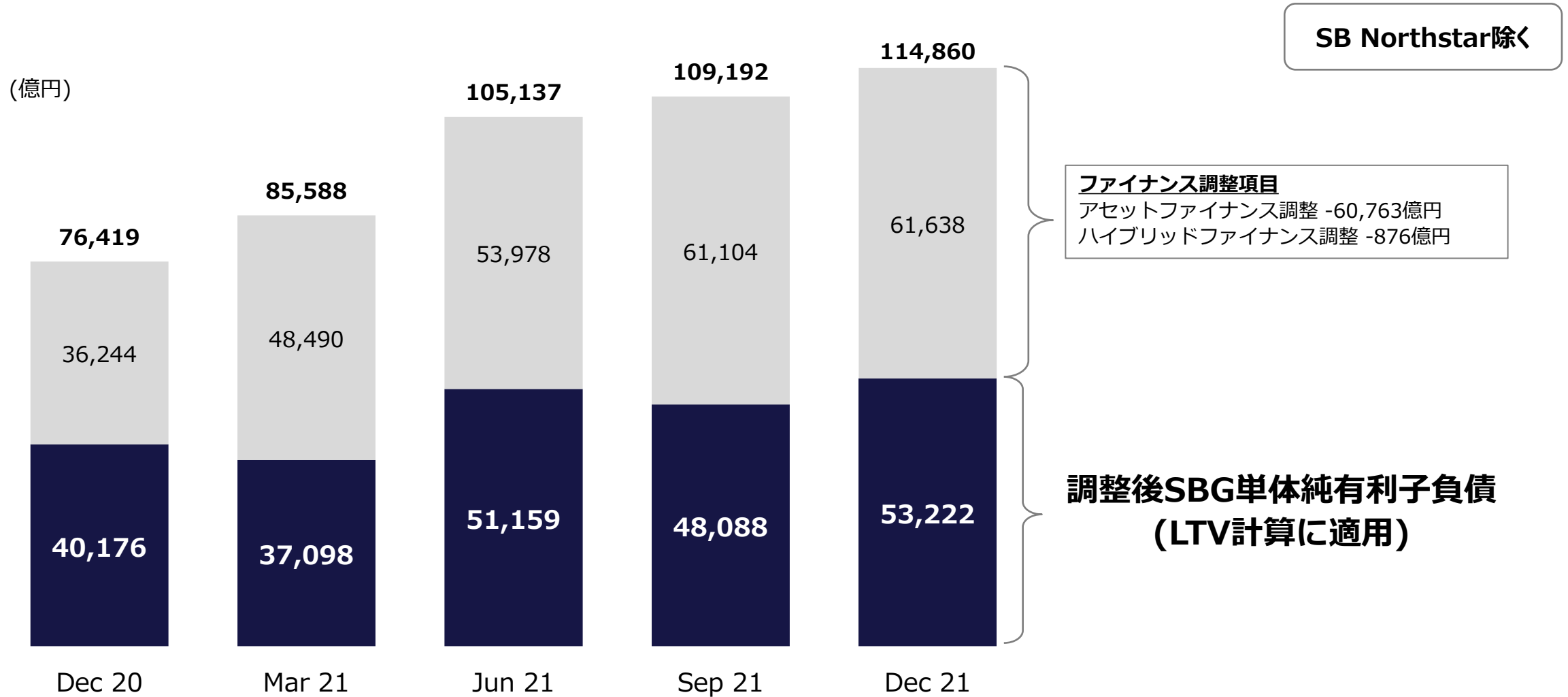
SB Northstar 手元流動性

2021年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> SVF1&2からの分配 (+\$4.4B) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引 (+€2.6B) アリババ株式を活用した株式先渡売買契約の締結 (+\$2.2B) 銀行ローンの増額 (+1,518億円) 	<ul style="list-style-type: none"> SVF2のキャピタルコール (-\$7.4B) アリババマージン・ローンの一部返済 (-\$4.0B) 劣後社債の満期償還: Q2で調達済み (-3,616億円) その他投資 (-2,066億円)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

SBG単体 純有利子負債

投資の継続とノンリコースの負債を一部返済したことにより、調整後純有利子負債は増加

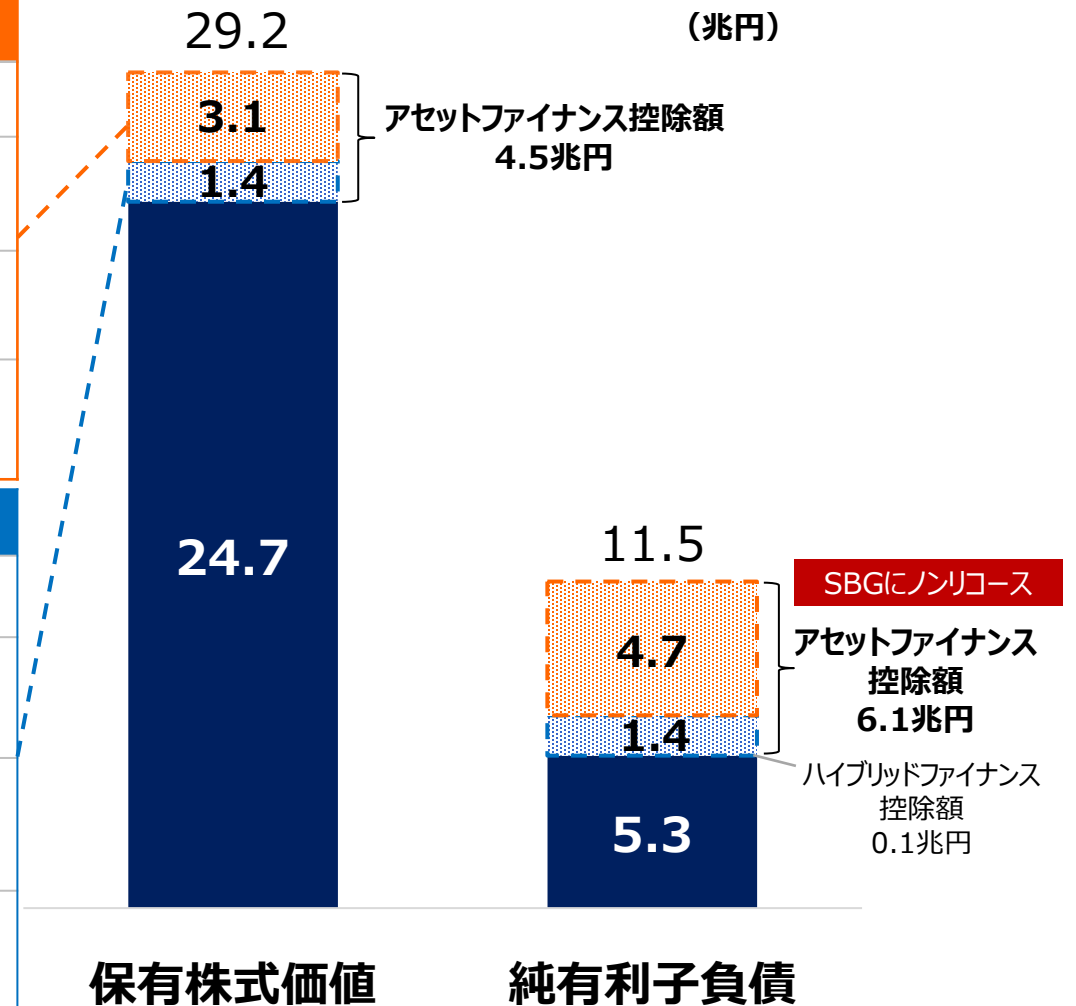


(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

アセットファイナンス調整

アセットを活用したノンリコースファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

カラー・フォワード・プット取引	
対象株式	アリババ・Tモバイル・ドイツテレコム
概要	株式先渡し売買契約 ^{*1} に基づく資金調達（ノンリコース）
株価下落時	フロア価格を超えた株価下落に対して、ヘッジ効果あり
アセット調整額	株式先渡し売買契約 ^{*1} に基づく満期決済金額を控除（決算期末株価を基に算出した想定値）
マージンローン	
対象株式	アリババ・Tモバイル・SBKK
概要	株式を担保として差し入れ借入を行う資金調達（ノンリコース）
株価下落時	一定の株価水準を下回った場合、期限前返済や追加担保が必要になるリスクあり（株価によらず返済金額総額は借入金に固定）
アセット調整額	連結BSに計上された借入金の額を控除



*1 株式先渡し売買契約とは、契約締結時に合意された価格または価格レンジで、予め定められた期日に、対象株式を売買する契約

- 投資事業の状況
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

投資会社として最適な財務戦略の確立

財務方針の堅持

投資事業の拡大
再生産を可能に
する財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVF1&2や子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

救済投資は
行わない

投資と回収の サイクルを確立

- 「投資」→「回収・CFの創出」→「再投資」のサイクルを確立
- 必要投資資金を十分に上回る回収時には、ステークホルダーへの還元も考慮
- 危機時には保有資産の資金化等による財務改善を優先

魅力的な投資機会を 捉える資金調達

- LTVを意識したレバレッジの活用
- 多様な調達手段の最適ミックス（手法/市場/プロダクト等）
- 市場・金融機関との対話を重視

自己株式の取得

取得内容

総額：1兆円（上限）
取得期間：2021年11月9日～2022年11月8日

考え方

1. 財務方針の堅持
2. 投資機会
3. NAVディスカウントの水準

これらを考慮しながら機動的に
 自己株式を取得

上記バランス次第では取得期間内に1兆円の上限に達しない
 可能性あり

取得実績

2021年11月～2022年1月：1,570億円（2,856万3,200株）

-
- 投資事業の状況
 - 財務の状況
 - 財務戦略
 - **ESGの推進**

ESGの取り組み

グループ全体のESGに関するポリシー整備

- ・AI倫理に関するグループポリシーの検討開始、2022年度中に策定予定

環境：TCFDに沿った気候変動情報開示

- ・気候変動対応戦略および対応策を検討中、2022年6月下旬までに開示予定

社会：人権リスク対応

- ・SBGにおける人権デューデリジェンスの実施計画、2021年度中に開始予定

社会：新型コロナウイルス対応

- ・機動的な唾液PCR検査提供を可能にする「**移動式PCR検査車**」を開発
 - －国や自治体が進める新型コロナウイルスの検査体制確保への貢献を目指す
- ・**ワクチン3回目のための接種会場を、全国9か所**で運営予定
 - －対象：取引先社員、グループ社員および家族など約9万人（2/7現在）



外部評価：S&P Global The Sustainability Yearbook 2022 Rankings

- ・各産業セクター上位15%に該当する“Yearbook Member”に選出

環境・社会分野への投資

環境・社会課題の改善に取り組むスタートアップに引き続き積極的に投資 テクノロジーや資金調達の領域における格差や差別の解消などに貢献

※下記は投資先・支援先の一部です

SVF2



ESG関連データプラットフォームおよびデータ分析ツールの提供



支援が必要な高齢者とサポートを提供する人のマッチングサービス

Emerge

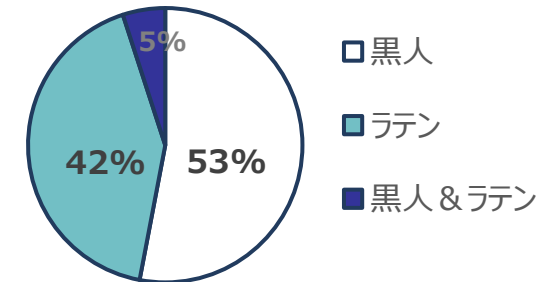
- 過小評価されているマイノリティ起業家の支援プログラム
- 2021年12月に新たに9企業への支援を決定



SB Opportunity Fund (2021年の実績)

- 卓越したマイノリティ起業家を発掘し投資、テクノロジー業界の多様性に貢献
- 新規投資47件

創業者の人種構成



今後：サステナブルボンドの発行による環境・社会分野への更なる投資促進も検討

Appendix

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

5.32兆円

=21.6%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

24.66兆円



アリババ	+9.13	SBKK	+2.79	Tモバイル	+1.20	SVF1	+5.19	SB Northstar	+0.76
アセットファイナンス	-3.15	アセットファイナンス	-0.50	アセットファイナンス	-0.46	SVF2	+4.83	その他	+1.04
アリババ (調整後)	+5.97	SBKK (調整後)	+2.29	Tモバイル (調整後)	+0.74	テナムカ・ファント [®]	+0.94		
ドイツテレコム	+0.48	アーム	+2.83						
アセットファイナンス	-0.40								
ドイツテレコム(調整後)	+0.08								

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細についてはp43~44を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	5.97	
調整前	9.13	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットファイナンス調整	-3.15	下記のアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の先渡し買戻契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2021年12月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（24,676億円） ・マージン・ローン負債残高相当額（6,868億円）
(b) SBKK	2.29	
調整前	2.79	SBGの保有株式数×同社株価
アセットファイナンス調整	-0.50	SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,997億円）
(c) SVF1	5.19	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	4.83	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
(e) ラテンアメリカ・ファンド	0.94	ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(f) Tモバイル	0.74	
調整前	1.20	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2021年12月末時点：56,124,954株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットファイナンス調整	-0.46	下記のアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（3,036億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,228億円）*1 ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（2,393億円）
(g) ドイツテレコム	0.08	
調整前	0.48	SBGの保有株式数×同社株価
アセットファイナンス調整	-0.40	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（3,970億円）
(h) アーム	2.83	SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
(i) SB Northstar	0.76	SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
(j) その他	1.04	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値 （公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
SBG単体 調整後保有株式価値	24.66	p43からの(a)~(j)までの合計額

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$2.65B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.7B）を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている。

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

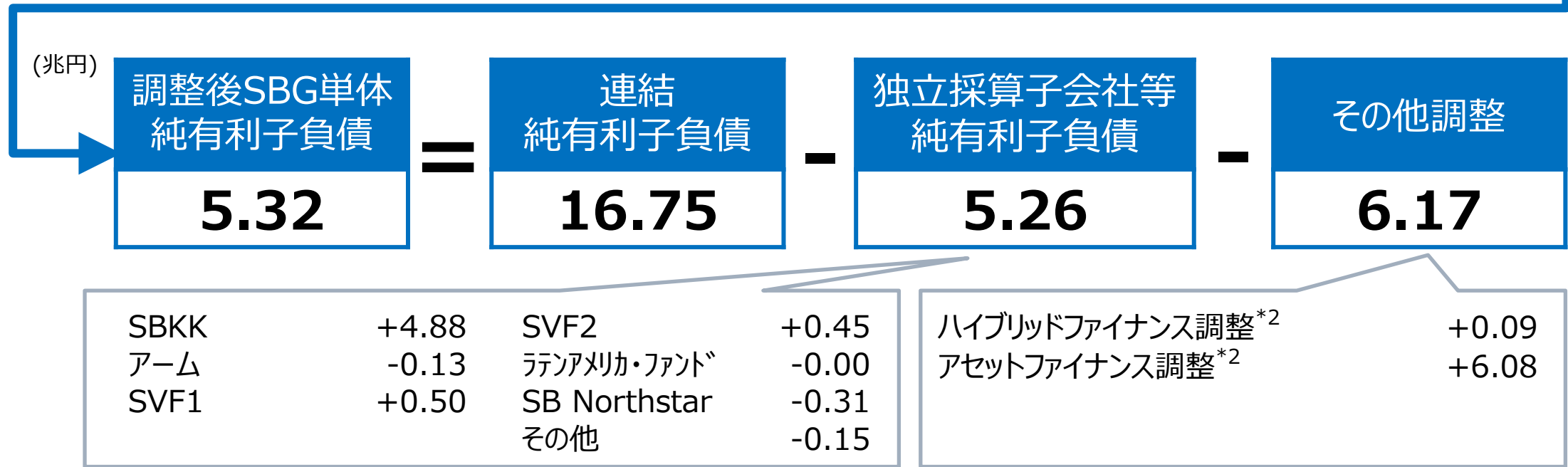
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

5.32兆円

=21.6%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

24.66兆円



*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細についてはp46を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

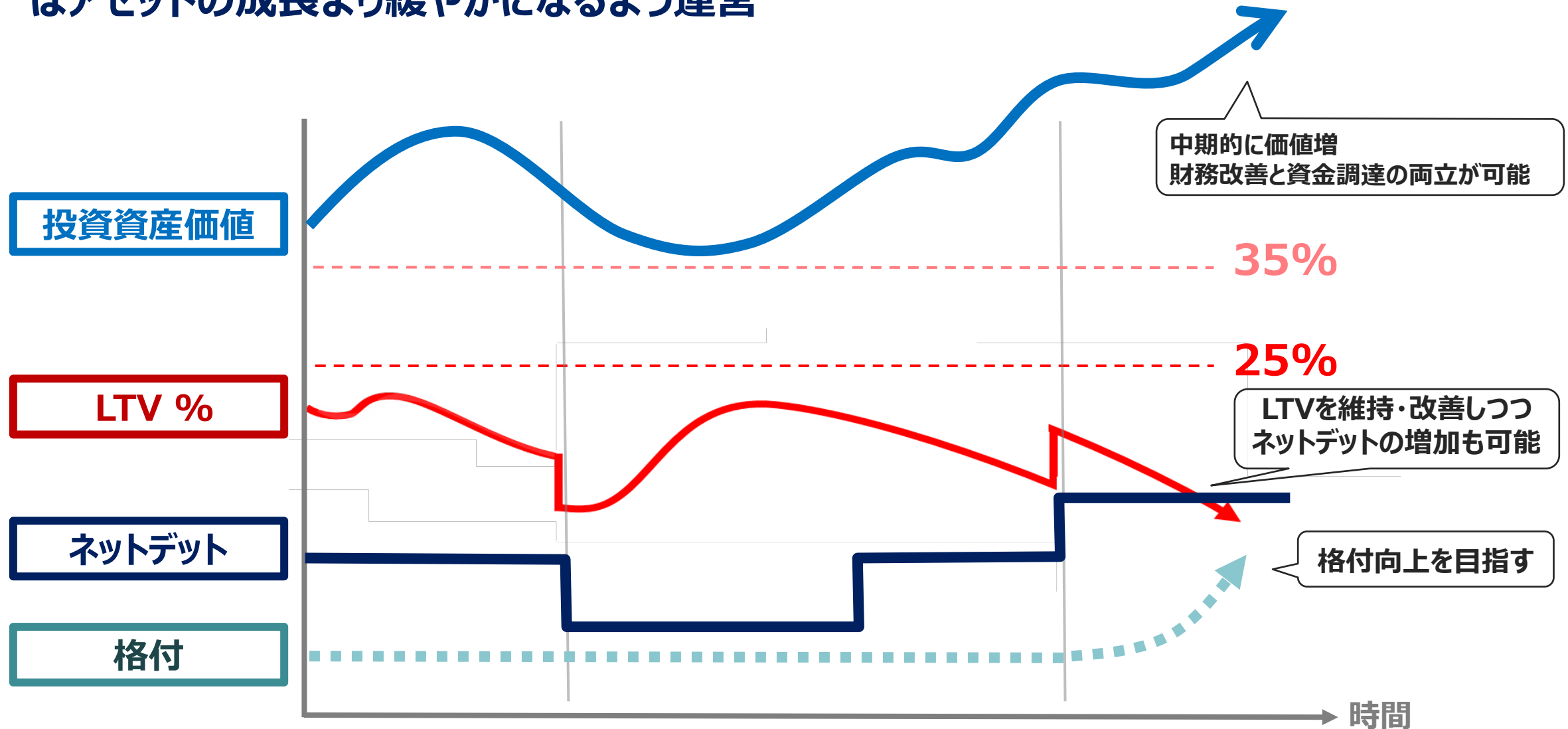
(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債		11.49	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.09		<ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットファイナンス調整	-6.08		
アリババ	-4.72		<ul style="list-style-type: none"> ・アリババ株式を活用した複数の先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡し契約金融負債（4兆346億円） ・アリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（6,868億円）
Tモバイル	-0.46		<ul style="list-style-type: none"> ・Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（3,036億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,228億円）^{*1} ・Tモバイル株式を活用した先渡し買契約（カラー契約）に係る株式先渡し契約金融負債（2,362億円）
ドイツテレコム	-0.40		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（3,962億円）
SBKK	-0.50		SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額（4,997億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		5.32	

*1 Tモバイル株式を活用したマージン・ローン（借入総額\$2.65B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$0.7B）を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている。
 なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている。

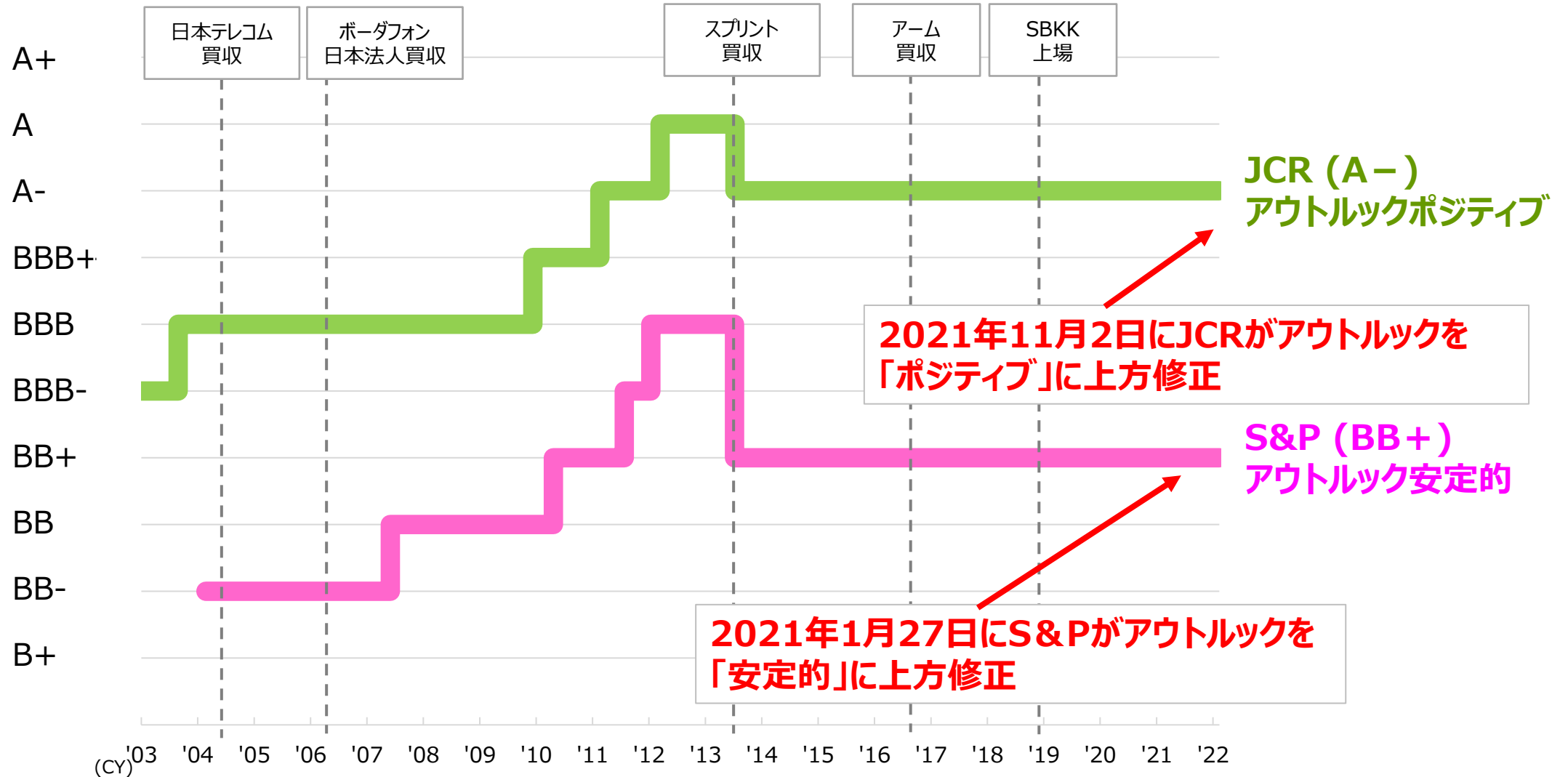
目指すべき財務運営（イメージ）

投資の拡大再生産のため資金調達を継続するが、財務規律を守り、ネットデットの増加はアセットの成長より緩やかになるよう運営



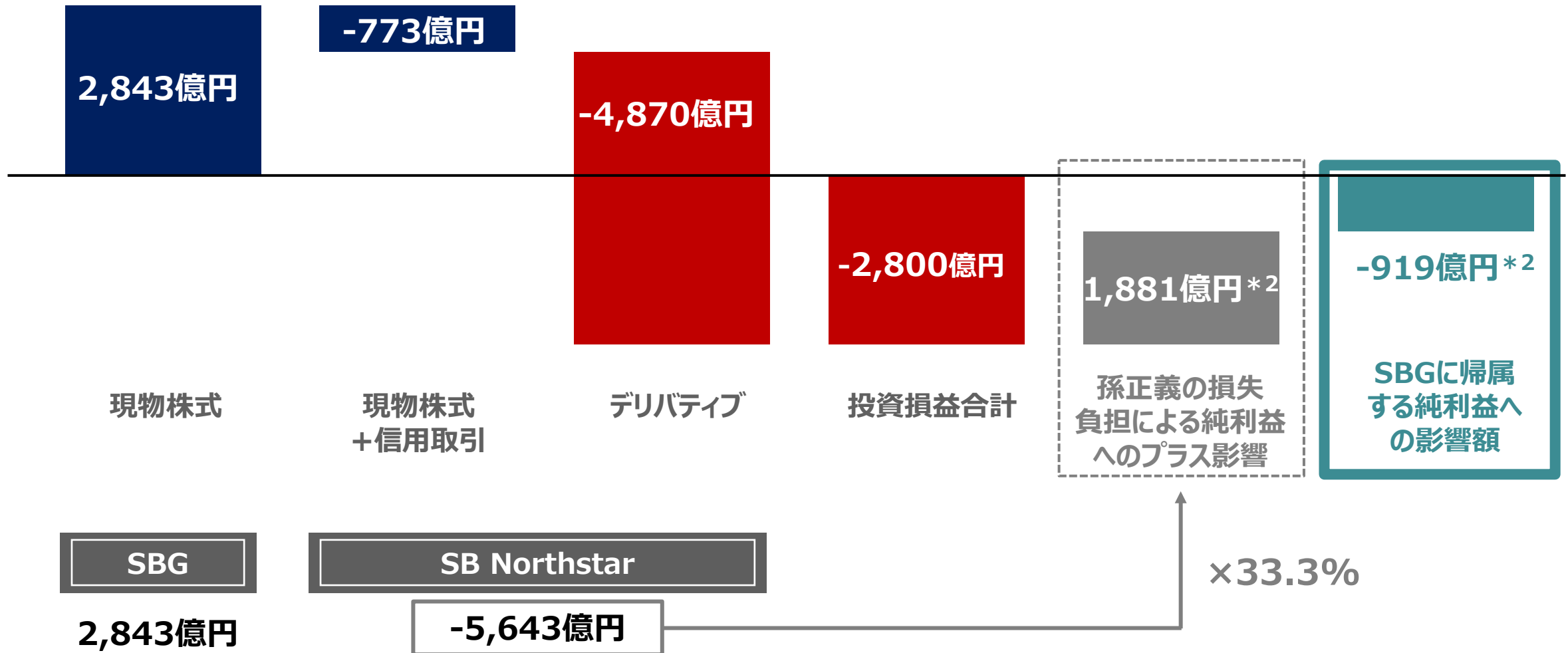
SBGの格付推移

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



(注) 2022年2月10日時点

SB Northstar : 累計投資損益*1



*1 SBGが保有するNVIDIA Corporation株式に係る投資損益を含む。

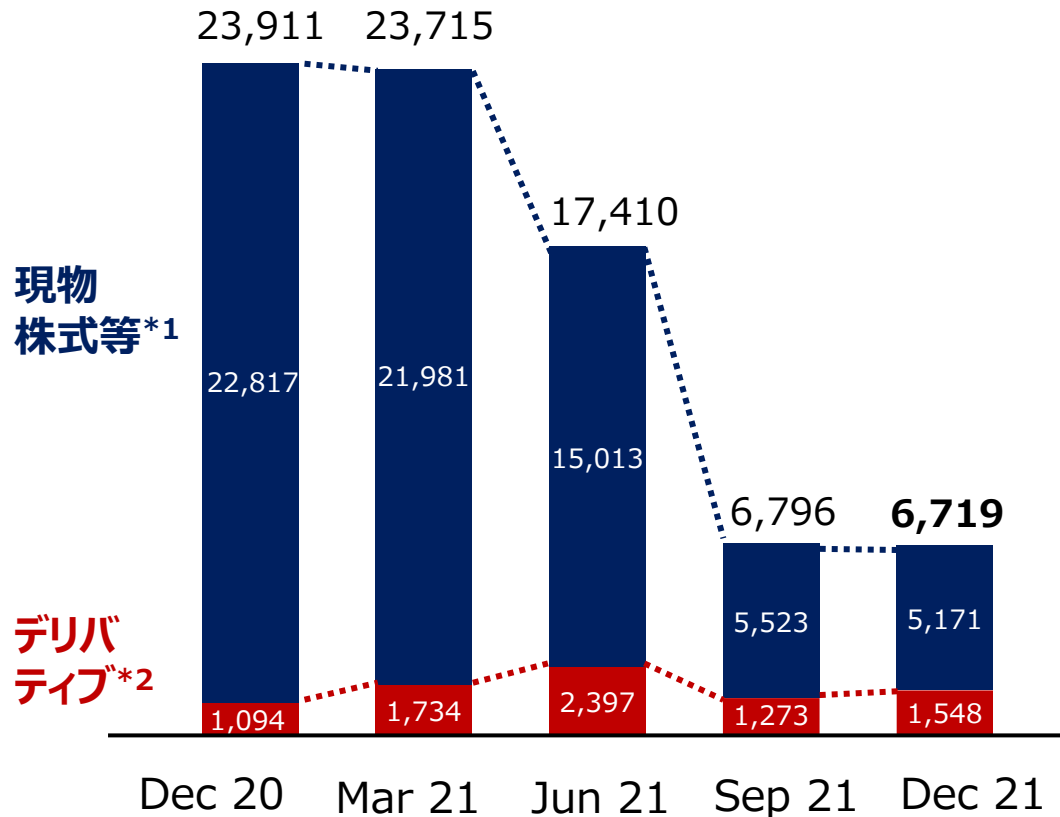
*2 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない。

SB Northstar : 運用資産の状況 (2021年12月末時点)

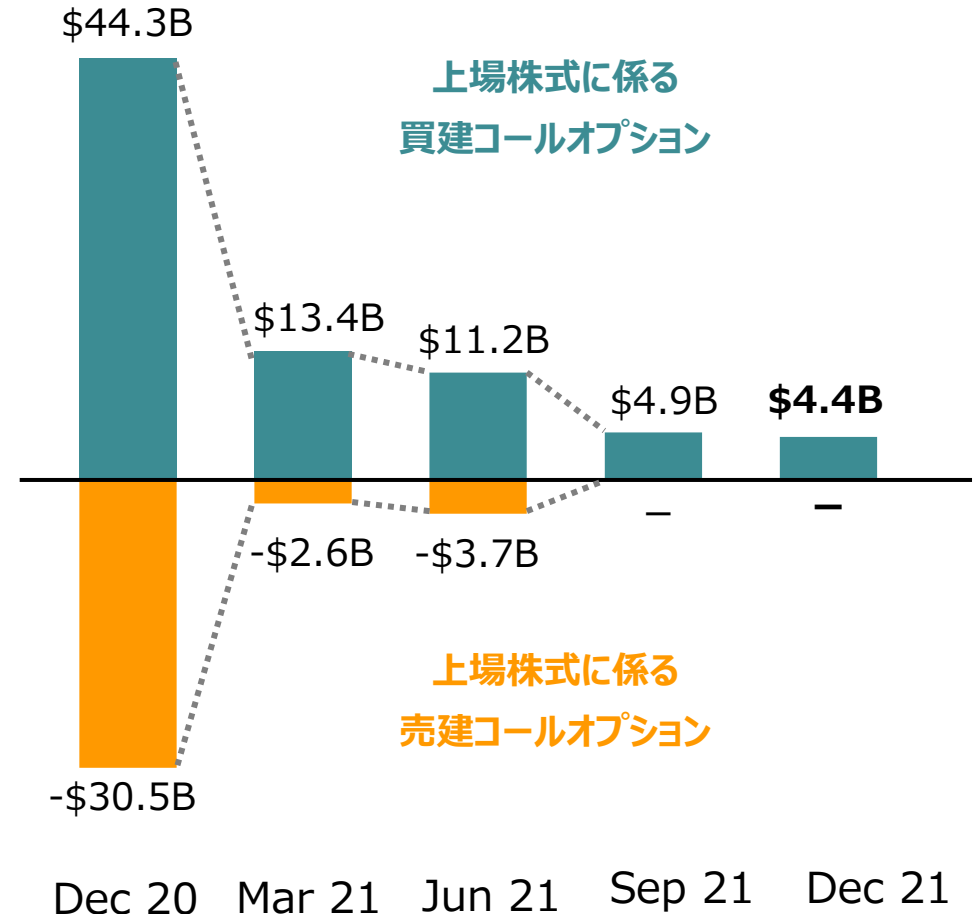
投資規模は大幅に減少

現物株式等およびデリバティブ (公正価値)

(億円)



オプション想定元本



*1 SBGが保有する現物株式とSB Northstarの投資 (現物株式、担保差入有価証券および転換社債) の合計

*2 SB Northstarにおけるデリバティブ金融資産とデリバティブ金融負債の純額

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Dec 20	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21
SBG単体	112,189	130,233	140,334	139,674	138,604
うち、SB Northstar	15,288	18,665	14,245	2,863	2,754
SVF1&2	2,603	4,442	5,433	8,272	11,999
ソフトバンク事業	58,045	56,921	62,274	59,691	61,680
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	3,397	3,884	4,296	3,357	3,457
合計	176,234	195,480	212,338	210,995	215,739

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Dec 20	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21
SBG単体	34,375	35,896	31,033	33,579	26,811
うち、SB Northstar	13,893	9,916	10,081	5,959	5,821
SVF1&2	469	1,311	3,842	1,009	2,474
ソフトバンク事業	12,954	12,856	14,013	10,575	12,834
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	4,571	5,248	4,742	5,146	6,137
合計	52,368	55,312	53,630	50,309	48,256

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Dec 20	Mar 21	Jun 21	Sep 21	Dec 21
SBG単体	77,814	94,337	109,301	106,096	111,793
うち、SB Northstar	1,395	8,749	4,164	-3,096	-3,067
SVF1&2	2,135	3,131	1,591	7,263	9,525
ソフトバンク事業	45,090	44,064	48,261	49,116	48,846
その他（アーム、ラテンアメリカ・ファンド等）	-1,173	-1,364	-446	-1,789	-2,681
合計	123,866	140,168	158,708	160,686	167,483

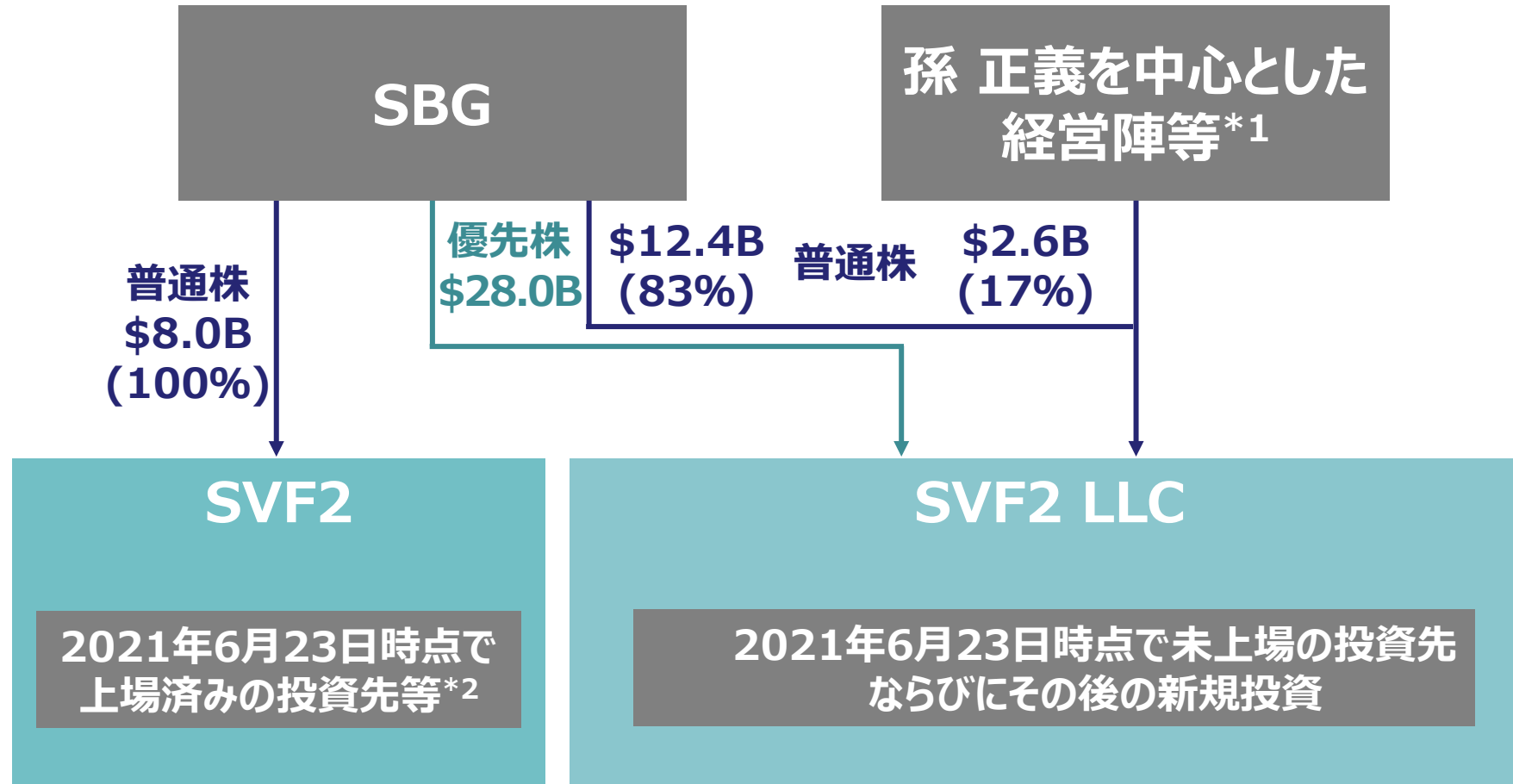
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ

SVF2共同出資プログラムの導入

経営陣がSBGと共同出資し、利益のみならずそのリスクも共有の上、投資運用に専心し、当社の収益拡大への寄与を果たすことを目的に導入



(注) 2021年12月31日時点

*1 孫正義以外の経営陣の参加は2022年1月末現在未決定だが、将来的に参加を予定

*2 2021年6月23日時点で上場を公開申請していた投資先、取締役会がプログラムからの除外を承認した投資先を含む。

投資と回収のサイクル (イメージ)

中長期での投資サイクルの確立を目指す

